

平成 30 年度
海外農業・貿易投資環境調査分析委託事業
(アルゼンチン)

報告書

平成 31 年 3 月

中央開発株式会社

平成 30 年度海外農業・貿易投資環境調査分析委託事業（アルゼンチン）

目 次

1. 事業の概要	1
1.1 事業の背景と目的	1
1.2 業務の内容	1
2. 第 2 回日亜対話関連資料の調査分析及び作成	3
2.1 アルゼンチン側へ提供可能な穀物及び肉類の情報の調査及び整理	3
2.2 現地日系企業等へのヒアリング	9
3. 第 2 回日亜対話の実施	14
3.1 第 2 回日亜対話の実施	14
3.2 第 2 回日亜対話の実施内容	14
3.3 第 2 回日亜対話の参加者	16
3.4 第 2 回日亜対話発表内容の概要（抜粋）	16
3.5 第 2 回日亜対話参加者へのアンケート	20
4. 第 2 回日亜対話に伴う、農業・食料産業関連施設の視察に関する調整等	22
4.1 現地視察の選定	22
4.2 視察スケジュール	23
4.3 現地視察の参加者	23
4.4 現地視察の概要	23
5. まとめと今後の展開	26
5.1 まとめ	26
5.2 今後の展開	26

1. 事業の概要

1.1 事業の背景と目的

- (1) 世界の食市場規模は340 兆円（平成21 年）から680 兆円（平成32 年）に倍増すると予測されており、急速に拡大する世界の食市場を取り込み、我が国食産業の海外展開を図っていくことが必要とされている。このため、我が国の農林水産業・食品関連企業（以下「日本企業」という。）の「強み」を活かし、農産物の生産から加工、製造、流通、消費に至るフードバリューチェーン（以下「FVC」という。）の構築を各国と協力して進めていくための指針として取りまとめたグローバル・フードバリューチェーン戦略に基づき、食のインフラシステムの輸出による中小企業も含めた食産業の海外展開を促進するための具体的取組を進めていく必要がある。南米については、地理的な制約はあるものの、人口4 億人を超える大きなマーケットを有しており、また、210 万人を超える日系人の潜在的需要も見込まれるため、日本企業の進出が期待されている。
- (2) こうした中、アルゼンチン共和国（以下「アルゼンチン」という。）との間では、平成29 年5月のマクリ大統領訪日の際に、農林水産省とアルゼンチン農産業省間で農業、畜産業、漁業、林業及び食料産業分野における協力覚書が締結され、これらの分野に係る二国間対話として日亜農林水産業・食料産業対話（以下「日亜対話」という。）の設置が決定した。平成29 年度には第1回日亜対話をアルゼンチンで開催したところ、官民連携により我が国農林水産物・食料品等のアルゼンチンへの輸出促進や、輸出の障壁となっている規制等の緩和を一層働きかけるため、第2回日亜対話を東京で開催することとなった。
- (3) 本事業は、第1回日亜対話の結果等に加え第2回日亜対話関連資料の調査分析結果も踏まえ、第2回日亜対話を開催し、日本企業の海外展開の促進を図り、各国とのFVC 構築を推進することを目的とする。

1.2 業務の内容

本業務は、農林水産省が保有する第1 回日亜対話の結果等の既存の情報を踏まえつつ、アルゼンチン等において以下の業務を実施した。各業務の実施した内容の詳細は2 章以降に記載する。

(1) 第2 回日亜対話関連資料の調査分析及び作成

第2 回日亜対話で論点となる以下の内容について、資料を作成した。

(1.1) アルゼンチン側へ提供可能な穀物及び肉類の情報の調査及び整理

アルゼンチン側へ提供するため、我が国の穀物及び畜産関係、過去5 年間の生産量、国内価格、国別輸入量等を調査、整理した（下表参照）。

項目	調査内容
1. 穀物 (米、トウモロコシ、ソルガム、大麦、大豆、小麦)	a) 生産量 b) 輸入量
2. 肉類 (牛肉、豚肉、鶏肉、羊肉)	c) 国内市場価格・CIF 輸入価格 d) 需給表 e) 国別輸入量

(1.2) 現地日系企業等へのヒアリング

アルゼンチンへ進出している日系企業等に対し、アルゼンチン国内で活動を行うに当たり必要な農林資産物に係るデータ及び改善を求める規制等についてのヒアリングと取り纏めを実施した。

ヒアリングは平成 30 年 11 月末から 12 月にかけて、日本国内 1 団体、アルゼンチン在日系企業 6 団体の合計 7 団体を対象に実施した。

(2) 第 2 回日亜対話の実施

平成 31 年 3 月 8 日(金)に開催された第 2 回日亜対話での、会場設定・準備、会議資料調製、議事録作成など主にロジステックスを中心に実施した。実施状況を下表に示す。

項目	事項
実施場所	東京都内
実施日	平成 31 年 3 月 8 日 (金)
参加者	日本：27 名、アルゼンチン：8 名、合計 35 名

(3) 第 2 回日亜対話に伴う、農業・食料産業関連施設の視察に関する調整等

第 2 回日亜対話開催日の翌日、東京近郊の直接販売施設及び日本の発酵技術視察として酒蔵を視察した。実施状況を下表に示す。

項目	想定事項
視察場所	東京都内 (立川市：野菜直接販売所、東村山市：日本酒酒蔵)
実施日	平成 31 年 3 月 9 日 (土)
参加者	日本：3 名、アルゼンチン：2 名、合計 5 名

2. 第2回日亜対話関連資料の調査分析及び作成

2.1 アルゼンチン側へ提供可能な穀物及び肉類の情報の調査及び整理

第2回日亜対話の議論・論点に資するため、我が国の穀物及び肉類の情報を収集、整理し、アルゼンチン側へ提供可能となる形式に取り纏めを行った。

2.1.1 収集した資料内容

収集、整理した穀物・肉類の具体的な種類と調査内容は下表のとおりである。また、それぞれの調査内容については経年変化がわかるように過去5か年分の資料を収集した。

項目	調査内容
1. 穀物 (米、トウモロコシ、ソルガム、大麦、大豆、小麦)	a) 生産量 b) 輸入量 c) 国内市場価格・CIF 輸入価格
2. 肉類 (牛肉、豚肉、鶏肉、羊肉)	d) 需給表 e) 国別輸入量

2.1.2 収集・取り纏め方法

収集した穀物・肉類の資料は原則、公に公表されている資料を使用した。調査項目別の資料出典元は下表のとおりである。

項目	調査内容	出典
1. 穀物	a) 生産量	・農林水産省 作物統計
	b) 輸入量	・農林水産省 農林水産物輸出入概況
	c) 国内市場価格	・農林水産省 米の相対取引価格 流通飼料価格等実態調査 国内産食糧用麦の落札価格 政府売渡価格(小麦)
	CIF 輸入価格	・日本特産農産物協会 大豆入札取引結果 ・農林水産省 農林水産物輸出入概況
	d) 需給表	・農林水産省 食料需給表
2. 肉類	e) 国別輸入量	・農林水産省 農林水産物輸出入概況 ・財務省 貿易統計
	a) 生産量	・農畜産業振興機構 牛肉、豚肉、鶏肉需給表 ・畜産技術協会 めん羊統計

b) 輸入量	・農林水産省 農林水産物輸出入概況 ・財務省 貿易統計
c) 国内市場価格 CIF 輸入価格	・農畜産業振興機構 牛肉、豚肉、鶏肉の価格動向 ・畜産技術協会 めん羊統計 ・農林水産省 農林水産物輸出入概況
d) 需給表	・農林水産省 食料需給表
e) 国別輸入量	・農林水産省 農林水産物輸出入概況 ・財務省 貿易統計

2.1.3 資料収集・取り纏めに際しての留意点

資料収集・取り纏めに際して下記の点に留意した。

- ・資料はスペイン語に翻訳し、また、電子データでは出典元へアクセスできるよう「Link」としてハイパーリンクを付与した。
- ・生産量、国別輸入量については視覚的に理解しやすいよう数値と共にグラフで表現した。
- ・CIF 輸入価格は農林水産省の農林水産物輸出入概況を出典元としたが、一部記載のないものは財務省資料より、輸入合計金額を輸入量で除して算出した。
- ・米は水稻の数値を採用した。
- ・大麦については、輸入関連数値は裸麦が含まれる。

アルゼンチン側への各資料の検索方法及び取り纏めた資料全体は添付資料-1 に示した。

各品目 データ検索の流れ（事例として小麦及び牛肉を示した）

Manual de Pesquisa

Datos Estadísticos de Granos y Carnes del Japón

1 : Trigo / Oferta y demanda

Informe

d) Oferta y demanda¹⁾

Año ²⁾	Producción nacional ³⁾	Importación ⁴⁾	Exportación ⁵⁾	Stock ⁶⁾	Consumo Interno ⁷⁾
2013 ⁸⁾	812 ⁹⁾	5,737 ⁹⁾	0 ⁹⁾	~ 443 ⁹⁾	6,992 ⁹⁾
2014 ⁸⁾	852 ⁹⁾	6,016 ⁹⁾	0 ⁹⁾	289 ⁹⁾	6,579 ⁹⁾
2015 ⁸⁾	1,004 ⁹⁾	5,660 ⁹⁾	0 ⁹⁾	81 ⁹⁾	6,583 ⁹⁾
2016 ⁸⁾	791 ⁹⁾	5,624 ⁹⁾	0 ⁹⁾	~ 206 ⁹⁾	6,621 ⁹⁾
2017 ⁸⁾	907 ⁹⁾	5,939 ⁹⁾	0 ⁹⁾	269 ⁹⁾	6,577 ⁹⁾

Oferta y demanda / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca [Link](#)¹⁾



Open



Click

Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/zyukyu/index.html>

農林水産省

English キッズサイト サイトマップ 文字サイズ 標準 大きく

逆引き事典から探す

組織別から探す

キーワードから探す

Google カスタム検索

検索

会見・報道・広報

政策情報

統計情報

申請・お問い合わせ

農林水産省について

ホーム > 統計情報 > 分野別分類/その他（食料需給表、産業連関表、食品産業、環境など） > 食料需給表

食料需給表

Oferta y demanda

統計の概要

統計の目的	統計の沿革	統計の作成方法	用語の解説
利用上の注意	結果の概要	正誤	

集計・推計結果

- 第1報
- 速報

第1報（統計表一覧）

公表資料名	平成29年度食料需給表（概算）	平成30年8月8日公表
公表資料(PDF:573KB)	統計表 (Excel・e-Stat)	
正誤情報	公表資料の参考3及び参考6の平成23年度（平成30年8月24日）～平成27年度の値に、一部誤りがあったため訂正を行いました。	
お知らせ		

Info

平成 25 (Heisei) = 2013
平成 26 (Heisei) = 2014
平成 27 (Heisei) = 2015
平成 28 (Heisei) = 2016
平成 29 (Heisei) = 2017
平成 30 (Heisei) = 2018
平成 31 (Heisei) = 2019

* "Heisei" es el nombre de la era actual de Emperador Akihito



Click



29 (= 2017) Oferta y demanda

平成 29 年度 食料需給表

類別・品目別	国内生産量	外国輸入量	貿易輸出量	在庫の増減量	国内消費仕向量
1. 穀類	9,450	25,022	97	559	39,153
a. 米	8,824	888	97	△ 162	8,814
(a) (499)					888
(b) (28)					97
b. 小麦	907	5,939	0	269	6,577
c. 大麦	172	1,777	0	△ 3	1,952
d. 裸麦	13	26	0	6	39
e. とうもろこし	0	15,655	0	407	15,248
f. とうりゃん	0	554	0	44	510
g. その他の雑穀	34	183	0	△ 2	219

類別・品目別	国内生産量	外国輸入量	貿易輸出量	在庫の増減量	国内消費仕向量
	Producción nacional	Importación	Exportación	Stock	Consumo Interno
1. 穀類	9,450	25,022	97	559	39,153
a. 米	Arroz 8,824	888	97	△ 162	8,814
(a) (499)					888
(b) (28)					97
b. 小麦	Trigo 907	5,939	0	269	6,577
c. 大麦	Cebada 172	1,777	0	△ 3	1,952
d. 裸麦	Cebada den. 13	26	0	6	39
e. とうもろこし	Maiz 0	15,655	0	407	15,248
f. とうりゃん	Sorgo 0	554	0	44	510
g. その他の雑穀	34	183	0	△ 2	219
7. 肉類	3,325	3,127	17	23	6,412
a. 牛肉	Bovino 471	817	4	△ 7	1,291
b. 豚肉	Porcino 1,272	1,357	3	5	2,621
c. 鶏肉	Pollo 1,575	805	10	22	2,448
d. その他の肉	4	47	0	2	49
e. 魚	3	1	0	1	3

Informe

d) Oferta y demanda¹⁾

Año ²⁾	Producción nacional ³⁾	Importación ⁴⁾	Exportación ⁵⁾	Stock ⁶⁾	Consumo Interno ⁷⁾
2013 ²⁾	812 ³⁾	5,737 ⁴⁾	0 ⁵⁾	- 443 ⁶⁾	6,992 ⁷⁾
2014 ²⁾	852 ³⁾	6,016 ⁴⁾	0 ⁵⁾	289 ⁶⁾	6,579 ⁷⁾
2015 ²⁾	1,004 ³⁾	5,660 ⁴⁾	0 ⁵⁾	81 ⁶⁾	6,583 ⁷⁾
2016 ²⁾	791 ³⁾	5,624 ⁴⁾	0 ⁵⁾	- 206 ⁶⁾	6,621 ⁷⁾
2017 ²⁾	907 ³⁾	5,939 ⁴⁾	0 ⁵⁾	269 ⁶⁾	6,577 ⁷⁾

Mil toneladas⁸⁾

Oferta y demanda / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca [Link](#)⁹⁾



2 : Bovino / Importación por país

Informe

e) Importación por país

País	2013		2014		2015		2016		2017	
	Cantidad	Valor	Cantidad	Valor	Cantidad	Valor	Cantidad	Valor	Cantidad	Valor
Bovino total	535,496	266,845	519,778	306,512	495,420	337,863	504,384	288,764	573,978	350,476
1. Australia	286,947	135,712	261,706	156,463	289,632	192,083	273,675	157,208	288,260	174,485
2. Estados Unidos	186,164	102,251	188,733	121,944	165,502	118,098	192,128	109,730	239,676	150,661
3. Nueva Zelanda	29,459	15,254	24,164	14,494	16,722	13,084	16,408	11,303	15,768	11,223
4. Canada	12,691	5,087	14,104	6,639	9,941	5,540	13,458	5,566	18,722	8,018
5. Mexico	19,586	8,111	10,381	6,459	11,853	8,018	7,355	3,947	9,400	4,839
6. Otros	648	430	690	514	1,769	1,040	1,360	1,010	2,152	1,250

Toneladas, millones de yenes

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

Link



Open



Click

Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/houkoku_gaikyou.html

農林水産省

English キッズサイト サイトマップ 文字サイズ 標準 大きく

逆引き事典から探す

組織別から探す

キーワードから探す

Google カスタム検索

検索

会見・報道・広報

政策情報

統計情報

申請・お問い合わせ

農林水産省について

ホーム > 統計情報 > 分野別分類/農林水産物の輸出入 > 農林水産物輸出入統計 > 農林水産物輸出入概況

農林水産物輸出入概況

Importación y exportación

平成 29
= 2017

平成29年

農林水産物輸出入概況 (2017年)

公表資料(PDF:1.377KB)

統計表 (Excel: e-Stat)

平成30年3月29日公表



Open



Click

平成30年3月29日
国際部国際経済課

Importación y exportación

農林水産物輸出入概況
2017年(平成29年)

表紙 概要 輸出动向 輸入动向 目次 表1 表2 表3 表4 表5 表6 表7 参考 表8 表9 表10

Importación (top 20)



品目・国・地域名	2013	2014	2015	2016	2017
1. オーストラリア	144,425	140,735	135,970	135,317	125,631
2. 大韓民国	1,066	526	3,522	2,054	3,950
3. リトアニア	2,709	10,629	5,182	20,264	8,387
4. スイス	1,111	5,685	819	4,363	6,649
5. ウクライナ	9,178	52,705	10,743	60,215	15,484
その他	130,360	371,209	115,604	312,246	97,163
総計 (千円/ト)	3,051.7	2,997.7	3,178.4	3,389.6	4,207.4
豚肉 Porcino	738,455	389,736	829,375	456,366	780,660
1. アメリカ合衆国	281,139	148,031	276,032	155,674	259,471
2. カナダ	142,212	74,750	147,393	82,045	155,923
3. ドイツ	113,951	59,731	135,346	71,405	110,055
4. スペイン	34,005	18,654	85,531	35,902	73,942
5. ポーランド	59,379	31,740	63,042	35,964	68,643
その他	107,768	56,828	141,431	75,377	111,726
総計 (千円/ト)	527.8	550.3	537.7	525.8	526.8
牛肉 Bovino	535,496	266,845	519,778	306,512	495,420
1. オーストラリア	286,947	135,712	281,706	156,463	289,632
2. アメリカ合衆国	186,164	102,251	188,733	121,944	165,502
3. ニュージーランド	29,459	15,254	24,164	14,494	16,722
4. カナダ	12,691	5,087	14,104	6,639	9,941
5. メキシコ	19,586	8,111	10,381	6,459	11,853
その他	648	430	690	514	1,769
総計 (千円/ト)	498.3	589.7	602.0	572.5	610.6

Info
豚肉: Porcino
牛肉: Bovino
とうもろこし: Maiz
大豆: Soya
小麦: Trigo

Informe

e) Importación por país

Pais	2013	2014	2015	2016	2017
	Cantidad	Valor	Cantidad	Valor	Cantidad
Bovino total	535,496	266,845	519,778	306,512	495,420
1. Australia	286,947	135,712	281,706	156,463	289,632
2. Estados Unidos	186,164	102,251	188,733	121,944	165,502
3. Nueva Zelanda	29,459	15,254	24,164	14,494	16,722
4. Canada	12,691	5,087	14,104	6,639	9,941
5. Mexico	19,586	8,111	10,381	6,459	11,853
6. Otros	648	430	690	514	1,769

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca
Link

2.2 現地日系企業等へのヒアリング

現在、アルゼンチンに進出している日系企業・関連団体を対象に、アルゼンチン国内で活動を行うに当たり必要な農林水産物に係るデータ及び改善を求める規制等について、ヒアリング調査を平成 30 年 11 月から 12 月にかけて実施した。

対象とした団体数は、日本国内 1 団体、アルゼンチン 6 団体の合計 7 団体である。

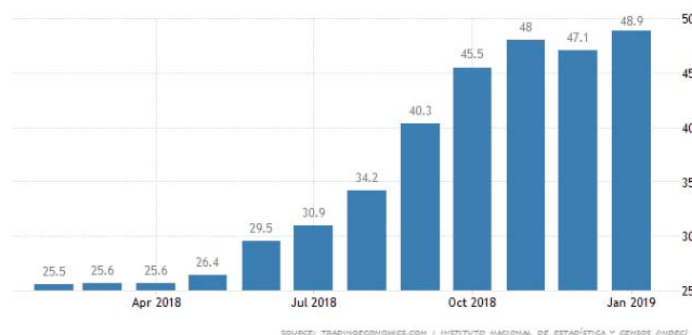
【ヒアリング実施の背景】

平成 30 年（2018 年）2 月にブエノスアイレスで開催された第 1 回日亜対話からヒアリングを実施した同年 12 月までの間に、インフレ率の上昇、現地通貨ペソの下落など、アルゼンチンの経済状況は大きく変化した。

平成 30 年 8 月 30 日には IMF が融資 30 億ドルの前倒しを決定、翌日には政策金利を 60%に引き上げること
を中央銀行が発表している。

一方、アルゼンチン政府は IMF 融資を受けるに当たり緊縮財政を求められており、省庁の再編、公務員の新規採用凍結等の対策を講じている。

ヒアリングでは、このようなアルゼンチンの経済状況等を踏まえ、企業活動をする上での課題、アルゼンチン側に要望する事項等に、第 1 回日亜対話時より変化等が生じているかとの視点で実施した。



アルゼンチンのインフレ率(2018 年、一部予想含む)

2.2.1 ヒアリング内容と方法

ヒアリング調査は、下記に示す主に 4 項目の質問を、予め各団体に送付、事前に内容を確認していただいた上で実施した。

質問 1：アルゼンチンでの御社の企業活動を行うに当たり、必要となる農林水産物に関するデータにはどのようなものがございませうか。

質問 2：アルゼンチンでの御社の企業活動を行うに当たり、改善を求める規制等にはどのようなものがございませうか。

質問 3：その他、アルゼンチンでの民間企業が活動を行うに当たり、課題はどのようなことだと思えうでしょうか（個人の見解でも結構ですうで支障の無い範囲でお聞かせください）。

質問 4：第 2 回日亜対話で取り上げてほしいテーマ等ございましたら、ご教示ください。

2.2.2 ヒアリング調査結果の要約

各質問に関するヒアリング調査結果の要約を下表に示す。

質問 1：アルゼンチンでの御社の企業活動を行うに当たり、必要となる農林水産物に関するデータにはどのようなものがございませうか。

- ・統計（及び法規類）の詳細（ブレイクダウン）に関しても英語で入手可能にしてほしい
- ・食品、食料輸出をしている会社の一覧表がほしい
- ・コーンやダイズ、それ以外の各種商品の需給、作付面積や生産量、輸出数量、国内在庫といったものをタイムリーに入手したい

質問 2：アルゼンチンでの御社の企業活動を行うに当たり、改善を求める規制等にはどのようなものがございませうか。

- ・なるべくシンプルで、通知はわかりやすく、頻繁に変更がないよう、また窓口によって対応が変わらないよう安定的な運営をしてほしい
- ・輸入プロセスの簡素化（輸入プロセスに時間がかかることへの説明がなく、透明性にかけている
- ・輸出時の VAT（付加価値税）還付に時間がかかる
- ・輸入時手続きの改善（続きが煩雑、認可期間が長い、担当官によって解釈が異なる、等）
- ・サービス業に係る輸出税
- ・食料材料輸入手続き（SENASA-アルゼンチン農畜産品衛生管理機構-）の煩雑さ
- ・輸出税（価格競争力、生産者モチベーション低下、等の懸念）

質問 3：その他、アルゼンチンでの民間企業が活動を行うに当たり、課題はどのようなことだとお考えでしょうか（個人の見解でも結構ですので支障の無い範囲でお聞かせください）。

- ・国内政治経済の安定と財政の健全化及び租税条約を進める
- ・インフラ（農産物流通時の冷凍冷蔵施設の不足、電力-停電-等）の脆弱性
- ・税金制度の複雑さ
- ・労務問題

質問 4：第 2 回日亜対話で取り上げてほしいテーマ等ございましたら、ご教示ください。

- ・イノベーション（IT、IoT、AI、バイオ技術の活用）を含めた生産性を高めるための農業分野の連携
- ・貿易のファシリテーション（諸手続のプロセスの検証と簡素化）

- ・外国企業誘致の環境整備とインセンティブ的なもの（税金免除、経済特区等）の整備

その他

- ・現政権の（貿易等の）開放政策の堅守
- ・農産物生産に影響のある洪水、気候による影響、災害など、の分野に関心あり
- ・アルゼンチン側から食品製造業者ミッションを派遣し、日本企業との民間交流によるアルゼンチンへの輸入の促進対策

質問 1 について

ヒアリング調査を行った限りでは、更なる農林水産物に関するデータ等の必要性は現時点ではないとの回答であった。これは現状で満足しているとのことではなく、民間情報会社、関連業界等から情報を収集する手立てを取っているとのことであった。

併せて、現在のアルゼンチンの経済状態により、データの入手の困難さなどへの影響は特に感じられない、との回答を得た。現政権の出すデータの信頼性について評価している回答もあった。

一方、今後のビジネス展開の検討材料とするために、データのタイムリーな入手を行いたい（農産物データの種類によっては、更新の頻度を上げてほしい）、農産物データと共に、特に貿易に関する法規類のブレイクダウンされた英語版への要望が出た。

また、直接、農林水産物データに関することではないが、ビジネスパートナーを検討するため、アルゼンチン国内の輸出力、品目を持つ企業のリストを要望するケースもあった。

質問 2 について

今回のヒアリング調査で、質問 3 とも関連し、最も多くの意見をいただいた。

各団体に共通して、貿易法規類の運営、特にアルゼンチンへの輸入時の通関に関して改善を求める意見を多くいただいた。

輸入プロセスの簡素化、なるべくシンプルに、通知はわかりやすく、頻繁に変更がないようにしてほしい、また担当官により対応が変わらない安定した運用が求められた。手続き期間が必要なことに関して窓口にお問い合わせでも返答がないなど、運用の透明性を疑う意見もあった。また、これらのことが、サンプル輸入によるテストマーケティング実施に支障を来し、途中で断念する場合もあるとの意見も出た。

これまでの事例として、

- ・食材包装材料に認可を求められ、時間を要した、
- ・同じ食材にもかかわらず、それぞれのパッキング容量製品毎に認可取得を求められた、

・食材の品質管理のため、輸出元の製造現場への立ち入り検査を求められた、等を挙げてください。

また、これら通関時の実態をアルゼンチン上層部に説明しても、その実態を把握していない場合もあり、法規類の施策と運用に乖離がみられる、との意見もあった。

その他、最終的に商品が輸出に結びついた場合の国内付加価値税の還付に時間がかかる、平成 30 年 9 月に通達された期限付き輸出税の“期限”への懸念、等の意見があった。

一方、アルゼンチン側へ輸入する手続きの簡素化は、アルゼンチンのフードバリューチェーン構築、延いては自国消費者に貢献するということを提案するのも必要である、との意見もあった。

質問 3 について

上記“質問 2”との関連がアルゼンチンで活動する多くの企業の課題として挙げられた。

その他の課題として、労務問題を挙げられる企業が複数社あった。南米諸国では労働者の権利が強く、一端給与を上げると下げることは困難で、そのことが柔軟な能力別給与の設定など会社経営に影響する、との意見であった。併せて、現在のアルゼンチン経済状況の悪化によるインフレ率上昇と昇給率に乖離が生じていることが懸念として挙げられた。

企業活動をする上で、アルゼンチンのインフラ整備の脆弱さを指摘される企業もあった。取り扱う商材を内陸部から運ぶ必要があり、その間の冷凍・冷蔵施設、貯蔵施設の不備、電力の問題、が指摘された。

また、日本が求める品質を確保するためには、アルゼンチン企業側での人材育成が必要である、との指摘もあった。

質問 4 について

日亜対話で取り上げてほしいテーマとして下記の意見が挙がった。

- ・輸出入に関する税関等の手続きの簡素化、運用等の改善を含めた、ファシリテーションに関すること。
- ・IT、IoT、AI 及びバイオ技術など農業イノベーションに関してのテーマ。
- ・外国企業を誘致する環境整備として、税金免除、経済特区等、インセンティブを与える事項について。

その他、日亜対話への期待として、アルゼンチンとの関係を貿易のみ、スポット的な内容に終始するのではなく、“食の安全保障”を念頭にフードバリューチェーン構築

に寄与するような継続的な、日本がイニシアティブを取れるような状況を本対話を通じて作ってほしい、との意見をいただいた。

その他

ヒアリング調査の範囲では、この一年のアルゼンチン経済悪化による企業活動への大きな影響は受けていない、との意見が多かった。これは調査対象企業が主に為替変動の負の影響を受けにくい輸出業を行っているためと推察される。一方、企業活動の一部としてアルゼンチン国内の生産者、業者との取引を行っている部分では、国内の農業資機材価格の高騰が影響してきている、との話も出た。また、“質問3”の項に記載したとおり、現地職員の賃金等の労務問題は影響があるとの意見であった。

また、現政権へは対象企業は、経済の悪化、輸出税の適用、等があるにも関わらず概ね好意的な評価をしており、現在は現政権が今年（平成31年）10月の大統領選挙以降も政権を継続する意思があるか、に関心が寄せられている。

その他、ヒアリング調査で出た意見としては下記のものがあった。

- ・アルゼンチンとして競争力を上げるためようと考えてるのであれば、農業関係者への輸出助成金等の手当を考えるべきではないか。
- ・食品製造業者のミッションみたいなものを日本側で受け入れ、民間交流的なことを行い、企業間のマッチング及びアルゼンチンへの輸入手続き改善を促してはどうか。

3. 第2回日亜対話の実施

3.1 第2回日亜対話の実施

平成29年度には、アルゼンチンのみならず、ブラジル、チリ、ウルグアイに進出している日系企業の参加によりアルゼンチン、ブエノスアイレスにて第1回日亜対話が開催された。第1回日亜対話を受け、官民連携による我が国農林水産物・食料品等のアルゼンチンへの輸出促進、輸出の障壁となっている規制等の緩和をいっそう働きかけるため、第2回日亜対話を東京で開催した。

3.2 第2回日亜対話の実施内容

第2回日亜対話は平成31年3月8日（金）に東京都内で実施された。実施された議事次第を表3-1に示す。また、併せて対話翌日には、農業・食料産業関連施設の現地視察を実施した。

表3-1 第2回日亜対話 実施内容

時間	行事等
開催日：平成31年3月8日（金）	
場所：TKP 新橋カンファレンスセンター、2階ホール2A（東京都港区西新橋1丁目15-1 大手町建物田村町ビル）	
08：30	開場、受付開始
09：00-09：15	<u>1. 開会及び代表者冒頭挨拶</u> 日本：柱本農林水産省大臣官房参事官 アルゼンチン：マルチソン生産・労働副大臣（食品・バイオ経済担当） ベロー駐日大使
09：15-09：40	<u>2. 第1回対話における日本側提案書への回答</u> アルゼンチン側による説明〔マルチソン生産・労働副大臣〕 日本側によるコメント〔農林水産省〕 質疑応答
09：40-10：05	<u>3. 穀類及び肉類に関する情報交換のための行動計画の締結</u> 行動計画への署名 日本・アルゼンチン相互による提供データの紹介 日本：中央開発(株)〔農林水産省委託事業〕 アルゼンチン：ボニファシオ国際農産食品経済調査分析課長〔生産・労働省〕
10：05-10：25	<u>コーヒーブレイク</u>

10:25-12:50	<u>4. 日亜相互のビジネス関係の強化</u> (1) アルゼンチン政府 アルゼンチンの経済情勢と農林水産政策—平成 30 年 9 月のマクリ大統領の政策パッケージの発表を受けて—（輸出税等）〔ムルチソン生産・労働副大臣〕 質疑応答 (2) 日本企業 ① 日本とアルゼンチンの農産業での協力〔東京商工会議所〕 ② 農業イノベーションのための e-kakashi - 農業への IoT、ビッグデータ、AI 及び CPS の応用 -〔PS ソリューションズ株式会社〕 ③ Freshmama ; 科学的に証明された世界初の鮮度保持シート 〔日産スチール工業株式会社〕 ④ 「食のタイムマシン」という革新 超高速凍結技術のご紹介 〔株式会社サティスファクトリー〕 ⑤ アルゼンチン〜日本 貿易促進〔合同会社オクトリンク〕 ⑥ 日本企業からの要望及び提案〔中央開発株式会社〕 質疑応答 (3) アルゼンチン企業 ① タラグイマテ茶 [Las Marías 社総合輸入元会社] ② Fridevi 社について [Fridevi 社] ③ アルゼンチンワイン産業及びワイナリー「ドン・クリストバル」について [Latinfina 社] 質疑応答
12:50-12:55	<u>5. 閉会挨拶</u> 日本：〔農林水産省〕
12:55-13:05	<u>6. 写真撮影</u>
13:05-14:25	<u>昼食（場所：TKP 新橋カンファレンスセンター、6 階カンフェレンスルーム 6G）</u> 日亜政府（農林水産省、大使館、亜生産・労働省）、民間事業者



第 2 回日亜対話 実施状況



行動計画への署名



参加者全体写真

3.3 第2回日亜対話の参加者

第2回日亜対話の参加者は、日本側が農林水産省、及び民間企業等の27名、アルゼンチン側が政府関係、在日本アルゼンチン大使館及び民間企業の8名、合計35名であった。

3.4 第2回日亜対話、発表内容の概要（抜粋）

第2回日亜対話での各発表の概要は以下のとおりである。

プログラム1 代表者冒頭挨拶

【日本：柱本農林水産省大臣官房参事官】

- ◆日亜農林水産業・食料産業対話は、一昨年5月（平成29年）にマクリ大統領が訪日した際、日本とアルゼンチンの官民連携による農林水産業・食料産業分野における協力の強化を目的として設置された。
- ◆農林水産省では、パートナー国とフードバリューチェーンを構築することにより、製造業者、流通業者、消費者等に、より大きな付加価値をもたらすことに加えて、需要を踏まえた高品質・高付加価値な生産を通じた農業者の所得向上や食料安全保障の確保に大きく貢献している。
- ◆アルゼンチンとも、本対話の枠組を活用して、両国政府が連携を強化しつつ、双方の民間企業が有する技術・イノベーションや投資資金を農業・食産業分野に取り込み、市場性の高い生産が可能となるよう貢献したいと考えている。このためには、農業者による質の高い農業資機材へのアクセスの改善や農業者が市場の需要を考慮しつつ生産に取り組むことを後押ししていくことが、益々重要になっている。

【アルゼンチン：ムルチソン生産・労働副大臣】

- ◆日本・アルゼンチンの関係は新しい段階に入った。相互信頼をもとに、非常に率直で建

設的な意見交換を行っている。日本がこれからも両国の関係を強化しようと、投資協力、企業間の関係などを強化しようということに関心を持っていることに感謝する。

- ◆相互に輸出入することで伸びていく。日本は食料あるいは加工品を大量に輸入しており、アルゼンチンの方は多額の食料品輸出をしている。非常にこれから両国の貿易関係、それから協力関係を強化していく余地は十分にあると考えている。
- ◆新しいビジネスチャンスもある。非常に幅広い、例えば質の高い食料、また持続可能な食料生産ということでやっていけると思う。日本の消費者は世界で最も洗練された消費者のうちに数えられる。特に、同時に両国の牛肉の輸出入に門戸を開いたことに非常に感謝している。第3回の対話を2020年にアルゼンチンで開催したい。

【アルゼンチン：ベロー駐日アルゼンチン大使】

- ◆ここ数年間2国間の協力関係が120年間で最も高いレベルにあることを非常に嬉しく思う。それによってアルゼンチンと日本は戦略的な関係を築くことができた。それにより両国間でハイレベルの交流が過去4年間で行われるようになった。
- ◆現在、パタゴニア産の牛肉、羊肉が日本の市場に入るようになり、また日本の和牛もアルゼンチンに輸出されるようになった。こうした関係の強化によって対話を設置することができた。また日本の民間企業とアルゼンチンの民間企業との関係も深まっており、そうしてこうした皆様が参加なさっていることもこれから2国間の民間レベルの交流をさらに強めていきたいという意思の現れであると理解している。5月13日に東京でセミナーの開催を予定している。
- ◆アルゼンチンの全国の牛肉が日本に輸出できるようになることを願っている。近いうちに日本の厳しい基準を通してアルゼンチンの生鮮果物が日本の市場に入ることも期待している。そのために植物防疫当局とともに作業を進めている。

プログラム2 第1回対話における日本側提案書への回答

【第1回対話における日本側提案書-抜粋-】

1. アルゼンチン農畜産業・食料産業の競争力強化に向けた提案
2. 日本の農林水産物・食品の輸出促進に向けた提案
3. 税制・通関・各種手続の改善に向けた提案
4. 農業生産性向上、穀物輸送インフラの改善並びに穀物関連データの整備・改善に向けた提案

回答【アルゼンチン：ムルチソン生産・労働副大臣】

- ◆1つ目提案への回答：日本側からの冷凍乾燥等についての技術を知りたい。冷凍技術は海運で長時間運搬しなければならない牛肉に使えると思う。商業化については、特に高付加価値のついたものによるアジア市場への提案については心から感謝している。
- ◆2つ目提案への回答：アルゼンチンにおいても日本食の普及は進んでいる。在亜日本国

大使館と話をすることによって一緒に様々なイベントを行うことで日本食材の促進に繋げたい。

- ◆ 3つ目提案への回答：2015年12月10日以降、アルゼンチン政府は様々な措置を行っている。その目的は例えば貿易に対して便宜を図るというものがあります。さらに他の様々な分野において官僚主義の排除、ならびに近代化、効率化というものを図られている。投資を促進するもの、また管理の品質を改善するためのものもある。他方ブエノスアイレスにおいてはマクリ大統領と安倍総理大臣の間で様々な投資保護のための協定というものが調印された。

- ◆ 4つ目提案への回答：過去数年間においてアルゼンチンは、インフラの不足をなくすため非常に重要な公共事業が行われている。それにより輸送コストを削減する事を目的としている。また併せて国債市場において中期的に競争力を高める努力をしている。

コメント【日本：柱本農林水産省大臣官房参事官】

- ◆ アルゼンチンとも、本対話の枠組を活用して、両国政府が連携を強化しつつ、双方の民間企業が有する技術・イノベーションや投資資金を農業・食産業分野に取り込み、市場性の高い生産が可能となるよう貢献したいと考えている。このためには、農業者による質の高い農業資機材へのアクセスの改善や農業者が市場の需要を考慮しつつ生産に取り組むことを後押ししていくことが、益々重要になっている。

コメント【日本：平中農林水産省大臣官房国際部国際地域課長】

- ◆ 私ども、民間の企業の皆様の投資促進を行っている観点からたくさんご要望頂いているのは特に3番の税制通関各種手続きの改善というところでございます。マクリ大統領の下、大変透明性のある手続きに向けた取り組みの努力をしておられること副大臣からのご説明でよく理解させて頂きました。

プログラム3 穀類及び肉類に関する情報交換のための行動計画の締結

【行動計画への署名】

- ◆ アルゼンチン側から、平成30年5月に穀類と肉類に関する情報交換のための行動計画に締結したいとの提案があり、日本・アルゼンチン、双方にとって情報交換は有益であり、この対話の機会に行動計画に合意し、署名を行った。

【日本・アルゼンチン相互による提供データの紹介】

(日本) 日本の主要な穀物、肉類の公に発表されている統計データを整理し、出典元をたどりながらアルゼンチン側で独自にデータ取得が可能となるよう説明を行った。
(アルゼンチン) 始め、アルゼンチンの穀物、肉類に関する統計データの紹介があり、次に穀物、肉類それぞれのデータシステムである、SIO-GRANOS、SIO-CARNES の紹介がなされた。

プログラム4 日亜相互のビジネス関係の強化

【アルゼンチン政府：マルチソン生産・労働副大臣】

- ◆アルゼンチンの農政に関する説明があった。始めに3つの優先順位、1)手続きの簡素化と官僚制の排除、2)生産の競争力の向上、3)海外市場の開拓、であり、それぞれについて具体例が示された。
- ◆上記の内、3番目の海外市場の開拓に関して3つの戦略が示された。1)見本市などへ参加する貿易のプロモーション、2)衛生関係制度の整備、3)貿易交渉、それぞれの戦略について施策の説明があった。

【日本企業①：東京商工会議所】

- ◆日本商工会議所・東京商工会議所が事務局を務め、アルゼンチン民間経済界との間で貿易投資、経済協力の促進に向けた日亜経済委員会の説明があった。

【日本企業②：PS ソリューションズ株式会社】

- ◆農業分野へ情報通信技術を応用することにより、生産性向上、環境保全、持続可能な取り組みを可能にする、e-kakashi が紹介された。

【日本企業③：日産スチール工業株式会社】

- ◆果実の鮮度保持を可能とするフィルムの紹介がなされた。当製品は果物等から発生するエチレングスを分解することによりフードロスを減少させ、農家収入向上に資するものであり、他の技術との組み合わせによる農業課題のトータルソリューションの可能性が示された。

【日本企業④：株式会社サティスファクトリー】

- ◆液冷式凍結技術の紹介。流通段階の鮮度保持の問題で損失が出てしまう生鮮食品のロスを無くし、結果的に収入向上を目指すという技術の紹介。国連の持続可能な開発目標(SDGs)にも資するもの。

【日本企業⑤：合同会社オクトリンク】

- ◆アルゼンチンと日本の貿易促進に資する農林水産品以外も含むマーケティングの必要性について、国内生産者と連携した事例や知見を説明するとともに、今後、貿易が促進されるような食品包装容器の改善等について説明。

【日本企業⑥：中央開発株式会社】

- ◆本事業の一環で行われた、アルゼンチン在の日本企業へのヒアリング調査結果について発表された。輸出入手続きの煩雑さ、時間がかかる、などの課題を提示した。

【アルゼンチン企業①：アキュウェル・コーポレーション-LAS MARIAS(マテ茶関係企業)の日本側総合輸入企業】

- ◆アルゼンチン企業 Las Marias が製造販売するマテ茶“タラグイマテ茶”の紹介。発表者はタラグイマテ茶の日本での輸入企業。

【アルゼンチン企業②：FRIDEVI -肉類関係企業-】

- ◆2018年に初めて、アルゼンチンから牛肉を日本へ輸出した企業の紹介。当社はパタゴニ

ア地方に所在する。企業の紹介はビデオを使用して行われた。

【アルゼンチン企業③：LATINFINA-ワイン関係企業-】

◆アルゼンチンワイン製造企業、LATINFINA 社の紹介。当社が製造販売するドン・クリストバルの他、多種にわたるワインについて紹介が行われた。

3.5 第2回日亜対話参加者へのアンケート

第2回日亜対話の参加者の満足度を知るため、日本側参加者にアンケートを実施した。回答は、参加企業等 15 団体に対して 8 団体から得られた（回答数は 9 回答）。

アンケート結果を下記に示す。

質問1：第2回日亜対話は有益であったか？

質問1に対する回答は、“非常に有益”3 ポイント、“有益”6 ポイント、合わせてアンケート全回答数 9 になり、アンケート回答者はすべて有益であったと感じていることが分かった。

有益と答えた理由として、

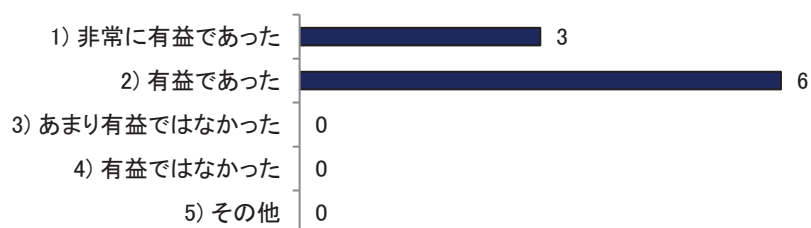
- ・問題意識が整理された
- ・多岐にわたるテーマが取り扱われていたこと
- ・民間企業のプレゼンが良かった
- ・アルゼンチンがオープンになったことが実感できた
- ・アルゼンチンが輸出税についてどのように考えているのか直接聞くことができた

との回答を得た。中には、

- ・政府間の良好な関係は理解したが、この関係をどのように民間レベルにもっていくか行動指針が必要

とのコメントもあった。

質問1 回答数



質問2：第2回日亜対話の中で興味を引かれたテーマは？（複数回答可）

質問2に対する回答は、プログラム4が最も興味があるとの回答が多く、全回答数9の内、8ポイントであった。続いて、プログラム3及びプログラム2が、それぞれ3ポイントという結果となった。

それぞれのプログラムを選んだ理由としては、

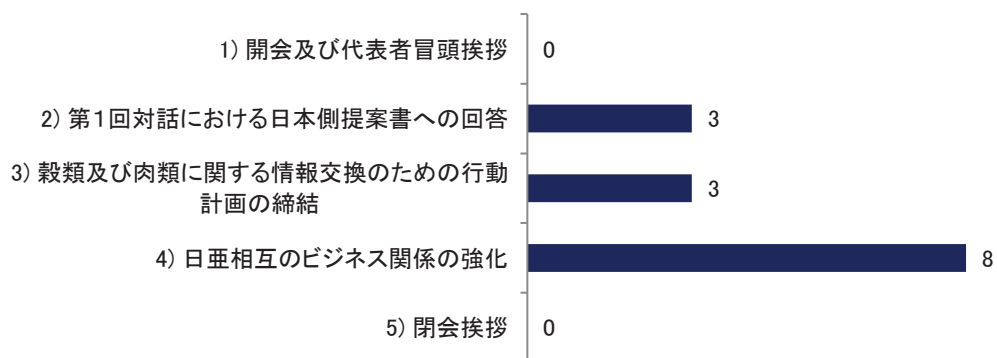
- ・問題点、有望分野の認識ができた
- ・穀類、肉類の情報交換を対等に行うことを約束したことは意義が大きい
- ・日本側提案にアルゼンチンから正式に、積極的に回答を得られた事は大きな意義がある等の回答を得た。

その他、

- ・日本とアルゼンチンとの取り組み姿勢に差があるように感じた
- ・パタゴニア地域以外の牛肉の解禁への期待
- ・租税条約の締結
- ・品目別の経済連携強化に当たってのメリット・デメリットの分析状況
- ・参加している企業の規模

等があった。

質問2 回答数



4. 第2回日亜対話に伴う、農業・食料産業関連施設の視察に関する調整等

第2回日亜対話開催翌日の平成31年3月9日（土）に東京近郊の農業・食料産業関連施設の視察（以下、現地視察）を行った。視察の概要を下記に示す。

4.1 現地視察の選定

現地視察は下記の理由により東京近郊2か所を選定、実施した。

(1) 農産物の直接販売

南米農業生産者にも関心の高い、販売までの中間業者を通さない、生産農家から直接消費者へ農産物を販売する場、“農産物直売所”を選定した。各生産農家が新鮮な農産物を直接に販売所へ持込み、販売価格はある程度市場価格を反映するが、原則生産者が決定し、また、生産者の顔が見える販売形態にて消費者へ品質を保証し、安心・安全の付加価値を高めた販売方法を視察した。

視察先は東京近郊、立川市に所在するファーマーズセンター みの〜れ立川を選定した。ファーマーズセンター みの〜れ立川は、JA 東京みどり（東京都国立市・昭島市・立川市・武蔵村山市・東大和市地域に広がる農業協同組合）の運営により野菜、果実等を販売する店舗である。

①ファーマーズセンター みの〜れ立川（都市近郊の農産物直接販売）

東京都立川市砂川町2丁目1-5（<http://tokyomidori.jatokyo.or.jp/minore/>）

(2) 日本の伝統食品と発酵技術

日本の発酵技術を使った“日本酒”をその製造方法から視察。日本酒は米を発酵する技術を長い年月をかけ磨き上げてできたものである。日本の主食である米から造るという点でも日本の文化の象徴として選定した。

視察先は東京都東村山市に所在する豊島屋酒造を選定した。豊島屋酒造は、今から420年前（1596年）に神田鎌倉河岸で酒屋兼一杯飲み屋として創業、昭和初期に東京都東村山市に醸造元として豊島屋酒造が設立された。現在、豊島屋酒造では日本で唯一の白酒醸造を行う酒蔵である。仕込み水は武蔵野台地の地下、深さ150メートルから汲み上げた水を使用している。加工から販売まで行っている酒蔵として選定した。

②豊島屋酒造（日本の伝統発酵技術）

東京都東村山市久米川町3-14-10（<http://www.toshimayasyuzou.co.jp/>）

4.2 視察スケジュール

現地視察当日のスケジュールを下表に示す。

実施日：平成 31 年 3 月 9 日（土）	
時間	内容
10:30	都内集合場所（ホテルオークラ）
12:00～12:30	「みのーれ立川」視察
12:30～13:30	昼食
13:30～14:15	移動（昼食場所→豊島屋酒造）
14:15～15:40	「豊島屋酒造」 酒蔵見学
15:40～17:10	移動（豊島屋酒造→ホテルオークラ）
17:10	解散



4.3 現地視察の参加者

第 2 回日垂対話の現地視察の参加者は、日本側が農林水産省、及び民間企業の 3 名（民間企業参加者 1 名は、最初の視察先“みのーれ立川”まで参加）、アルゼンチン側が政府関係、及び民間企業の 2 名、合計 5 名であった。

4.4 現地視察の概要

①ファーマーズセンターみのーれ立川

現地到着後、店内の農産品販売状況を視察し、店外の農産加工食品（愛媛県産の味噌）の試食イベントを見学。その後、“みのーれ立川” 職員との質疑応答がなされた。

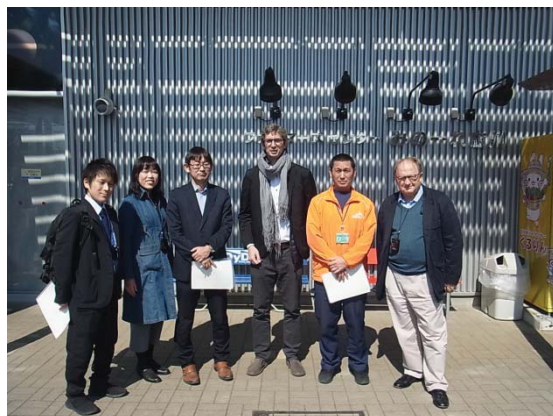
直売施設の基本情報に関することでは、営業日・営業時間は、年末年始を除く毎日・朝

10 時～夕方 5 時（夏季は 6 時）まで。従業員数については 23 人（平成 31 年 3 月 9 日聞き取り時点）、とのことである。

当該センターの運営に関しては、生産者会員数は 184 名（平成 31 年 3 月 9 日聞き取り時点）であり、会員は店舗で農産物を自ら展示し、直接販売を行う。

当該施設は立川市が所有し、みの一れ立川は施設を無償で使用する協定を立川市と結んでいる。

同センター運営の方針として、“組合員、生産者の所得に貢献する”ことを掲げている。



みの一れ立川での視察状況

②豊島屋酒造

豊島屋酒造職員の案内により、日本酒の製造工程に沿って酒蔵の中を視察。各工程（井戸水、洗米、浸漬、蒸米、麴、酵母、仕込み、発酵、他）において説明を受け、随時、質疑応答を行った。その後、各日本酒の特徴、精米の度合いと製法の違い、また製造に用いる水の重要性について説明を受けた。アルゼンチン民間企業からの参加者はワイン製造会社社長であったこともあり、日本酒の製造工程に関心を持ち積極的に質問がなされた。

米の種類は 6～7 種類を使っており、米に水を含ませる作業では、水分量のパーセンテージを調整するために、秒単位で浸漬時間を管理する。カビ（＝麴）を作り、蒸し米にまぶすことで麴が米のでんぷんを糖に変える。その糖を酵母がアルコールに変える。日本酒の特徴として、“寒造り”と呼ばれる製造法があり、これは、酵母は活動するが、他の菌類が活動しにくい寒い時期（10 月～4 月）に酒造りを行うもの。発酵を行うタンク群の上部にて、三段仕込みの説明を受けた。ワイン製造会社社長からは、どの酒造会社も伝統的な製造方法を行っているのか、あるいはコンピュータでの自動管理を行っている会社もあるのか、豊島屋酒造の年間の生産量は。といった質問があり、説明者からは、コンピュータ管理を行っている蔵元もあるがごく一部である、との説明と、年間生産量は 1,000 石（＝180,000 リットル）との回答であった。



豊島屋酒造での視察状況

5. まとめと今後の展開

5.1 まとめ

(1) アルゼンチン側へ提供可能な穀類及び肉類の情報の調査及び整理

第2回日亜対話の議論・論点に資するため、我が国の穀類及び肉類の情報を収集、整理し、アルゼンチン側へ提供可能となる形式に取り纏めを行った。収集、整理に用いた統計は、公に公表されている資料を使用した。整理、取り纏めを行った資料はスペイン語に翻訳し、アルゼンチン側が独自にデータを入手できるよう、電子データで出典元へアクセス可能な「Link」としてハイパーリンクを付与した。

また、公データ等のアクセス方法を含めて、本調査の成果は第2回日亜対話にて発表を行った。

(2) 現地日系企業等へのヒアリング

アルゼンチンに進出している日系企業・関連団体を対象に、アルゼンチン国内で活動を行うに当たり必要な農林水産物に係るデータ及び改善を求める規制等について、ヒアリング調査を平成30年11月から12月にかけて実施した。ヒアリングを実施した団体数は、日本国内1団体、アルゼンチン6団体の合計7団体であった。

統計及び法規類では、詳細な部分もビジネス拡張検討のため英語で入手可能にしてほしい、輸出入手続きなど規制については、なるべくシンプルで、窓口によって対応が変わらないよう安定的な運営をしてほしい、との要望があがった。

(3) 第2回日亜対話の実施

第2回日亜対話は平成31年3月8日（金）に東京都内で実施された。参加者は、日本側が農林水産省、及び民間企業等の27名、アルゼンチン側が政府関係、在日本アルゼンチン大使館及び民間企業の8名、合計35名であった。同対話では、第1回日亜対話で手交された日本側からの提案書に対するアルゼンチンの回答、穀類及び肉類に関する情報交換のための行動計画の締結と日本・アルゼンチン双方からの情報交換のプレゼンテーション、及び日本・アルゼンチン双方より、ビジネス関係強化に向けたプレゼンテーションが行われた。

(4) 第2回日亜対話に伴う、農業・食料産業関連施設の視察に関する調整等

第2回日亜対話開催翌日の平成31年3月9日（土）に東京近郊の農業・食料産業関連施設の視察を行った。視察は、1) JA 東京みどりの経営する農産物直接販売所、2) 日本の発酵技術の成果である日本酒酒蔵、の2カ所を訪問した。

5.2 今後の展開

次回、第3回日亜対話はアルゼンチンで開催したい旨、ムルチソン副大臣より発言があった。今後は、

- ・第2回日亜対話で締結された情報交換の行動計画の実施状況の確認

- ・貿易関連手続きの簡素化の実施状況
- ・今回、日本、アルゼンチン双方から意見、あるいはプレゼンテーションのあった農業へのIoT、ビッグデータ応用に関する話題

などが主な論点として考えられ、今年10月、アルゼンチンでは大統領選挙が行われる予定であり、選挙後の状況によっては、新たなテーマが出されることも考えられる。

第1回及び第2回では、日本側からアルゼンチンとの連携希望、投資環境の整備の要望が出されたところ。第3回対話では、日亜間の連携について具体的な進展がみられること、及びアルゼンチン側から改善について対応がなされることが必要である。

日亜対話が、両国の民間企業の参加によって継続、発展してゆくことが期待される。

Datos Estadísticos de Granos y Carnes del Japón
(2013 - 2017)

marzo de 2019

Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

Notas importantes

[En general]

- Están agregados hipervínculos en “Link” para que se pueda acceder fácilmente a las fuentes de datos.
- Los datos sobre la “Producción” y la “Importación por país” se muestran en una gráfica.
- El presente documento está descrito en español y japonés, pero se puede configurar para que la parte en japonés no aparezca en la pantalla (letras ocultas).

[Item]

- Los datos de “Producción” de los granos están recolectados desde las estadísticas de cultivo del Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca (cálculos basados en año de calendario), mientras que los de las carnes provienen de los datos de ALIC - Agriculture & Livestock Industries Corporation (cálculos basados en año fiscal). Respecto al ovino, no hay datos de producción, por lo cual está indicado el número de crías de ovino calculado por JLTA (Japan Livestock Technology Association).
- Respecto a la “Demanda de importación”, no es posible determinar cuáles son los datos precisos, por lo cual se ha utilizado la “Cantidad de importación” real.
- Los datos del “Valor CIF de importación” están recolectados desde el resumen de importación y exportación de productos agrícolas, forestales y pesqueros del Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca. Sin embargo, en cuanto a aquellos artículos sobre los cuales no está indicado dicho valor, se ha calculado dividiendo el importe total de importación entre la cantidad de importación.
- La tabla de “Oferta y demanda” está elaborada a partir de los datos de oferta y demanda de alimentos del Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca. Básicamente el período de medición de datos es de “año fiscal” (desde abril hasta marzo del año siguiente), pero respecto a la “soja” y el “pollo”, es de “año de calendario” (desde enero hasta diciembre).
- Respecto a los “Importación por país”, se han recolectado los datos del resumen de importación y exportación de productos agrícolas, forestales y pesqueros del Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca. En los casos en los que no hubo datos correspondientes en dicho resumen, se han adoptado los datos estadísticos de comercio del Ministerio de Finanzas.

[Producto]

- El precio nacional del “maíz” y del “sorgo de grano” no está indicados, dado que no se han encontrado datos publicados.
- Respecto a la “cebada”, los datos de producción y el precio nacional corresponden a los de la cebada de dos hileras y cebada de seis hileras. Sin embargo, en las estadísticas de importación y exportación están incluidos también los datos de la cebada desnuda.
- La cantidad de importación del “bovino” incluye “piezas sobrantes”, pero no incluye vísceras y lenguas de bovino.
- La cantidad de importación del “porcino” incluye “piezas sobrantes”, pero no incluye vísceras de porcino.
- Respecto al precio nacional del “pollo”, se indican el precio del muslo y el de la pechuga respectivamente de acuerdo con los datos originales.
- El mercado de “ovino” está cerrado a partir del año 2011 debido a la influencia del Gran Terremoto del Este de Japón, por lo cual no hay datos desde ese año. (Según JLTA, en la actualidad solo se hacen negocios directos con agricultores).

留意事項

【全体】

- ・ 出典データにアクセスしやすいように、「Link」にハイパーリンクを付与した。
- ・ 「生産量」と「国別輸入量」データにグラフを掲載した。
- ・ スペイン語・日本語併記にし、日本語部分は非表示にできる設定とした。

【項目別】

- ・ 「生産量」は、穀物については農林水産省の作物統計（暦年計測）、肉類については独立行政法人 農畜産業振興機構（年度計測）からデータを取った。なお、羊肉の生産データはないため、公益社団法人 畜産技術協会が計測しためん羊飼養頭数を記載した。
- ・ 「輸入需要」については明確なデータが判別できないため、実際の「輸入量」とした。
- ・ 「CIF 輸入価格」は農林水産省の農林水産物輸出入概況からデータを取った。なお、価格の記載がない場合には、輸入合計金額／輸入量で算出した。
- ・ 「需給表」は農林水産省の食糧需給表からデータを取った。なお、データ計測期間は基本的に「年度」（4月～翌年3月）であるが、「大豆」及び「鶏肉」の計測期間は「暦年」（1月～12月）である。
- ・ 「国別輸入量」は主に農林水産省の農林水産物輸出入概況からデータを取り、記載がない場合には財務省の貿易統計からデータを取った。

【品目別】

- ・ 「トウモロコシ」、「グレインソルガム」の国内市場価格は公表データが見当たらなかったため記載していない。
- ・ 「大麦」については生産量や国内市場価格では二条大麦と六条大麦のデータを取ったが、輸出入統計では数値に裸麦が含まれる。
- ・ 「牛肉」の輸入量は「くず肉含む」のデータとし、「牛の臓器・舌」は含まない。
- ・ 「豚肉」の輸入量は「くず肉含む」のデータとし、「豚の臓器」は含まない。
- ・ 「鶏肉」の国内市場価格では元データに合わせ、もも肉とむね肉それぞれを記載した。
- ・ 「羊肉」は東日本大震災の影響で、2011年以降は閉場しており価格データがない（畜産技術協会によると農家との直接取引のみとのこと）

Índice - 目次

Granos	1
(1) Arroz	1
(2) Maíz.....	3
(3) Sorgo de Grano	5
(4) Cebada	7
(5) Soja.....	10
(6) Trigo.....	12
Carnes	15
(1) Bovino	15
(2) Porcino	17
(3) Pollo	19
(4) Ovino.....	21

交換レート：1 米ドル=107.63 円

Tasa de cambio: un dólar estadounidense=107.63 yenes (Banco del Japón, 4/1/2019)

Granos - 穀物

(1) Arroz - 米

a) Producción - 生産量

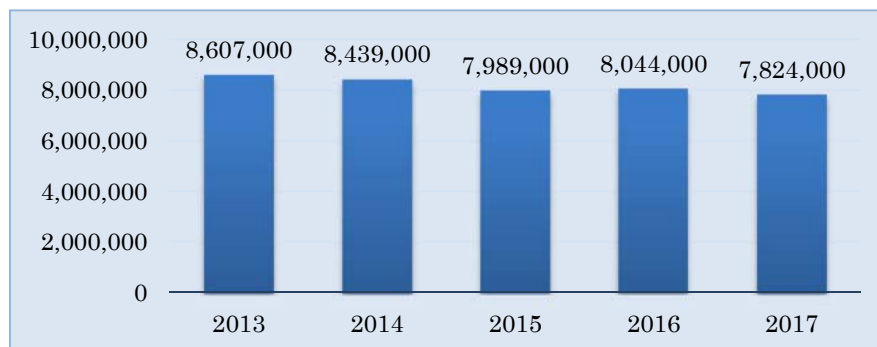
2013	2014	2015	2016	2017
8,607,000	8,439,000	7,989,000	8,044,000	7,824,000

Toneladas - トン

Estadísticas de cultivos / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 作物統計（水陸稲） [Link](#)

Producción de Arroz (Toneladas)



b) Cantidad de importación - 輸入量

2013	2014	2015	2016	2017
691,962	669,314	688,095	685,943	679,108

Toneladas - トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

c) Precio - 価格

Precio nacional - 国内市場価格

2013	2014	2015	2016	2017
14,341	11,967	13,175	14,307	15,501

Yenes/Arroz integral 60kg - 円/玄米 60kg

Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 米の相対取引価格（全銘柄平均価格） [Link](#)

Valor CIF de importación - CIF 輸入価格

2013	2014	2015	2016	2017
69,396	69,315	89,182	69,664	59,291

Yenes/Toneladas - 円/トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

d) Oferta y demanda – 需給表

年度 Año Fiscal (Abr.-Mar.)	国内生産量 Producción nacional	輸入量 Importación	輸出量 Exportación	在庫増減量 Stock	国内消費仕向量 Consumo Interno
2013	8,718	833	100	266	8,697
2014	8,628	856	96	- 78	8,839
2015	8,429	834	116	- 411	8,600
2016	8,550	911	94	- 186	8,644
2017	8,324	888	97	- 162	8,614

Mil toneladas - 千トン

Oferta y demanda / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 食料需給表 [Link](#)

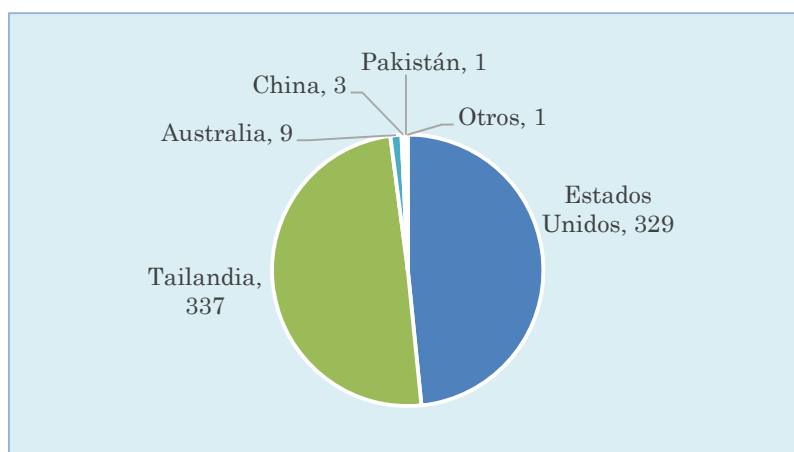
e) Importación por país – 国別輸入量

国 País		2013		2014		2015		2016		2017	
		数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor
	米合計 Arroz total	692	48,020	669	46,394	688	61,366	686	47,786	679	40,265
1	アメリカ合衆国 Estados Unidos	337	25,590	303	27,371	320	36,478	343	29,835	329	23,483
2	タイ Tailandia	258	14,781	319	15,470	299	16,915	295	13,317	337	15,484
3	オーストラリア Australia	55	4,080	38	2,954	13	1,453	2	258	9	775
4	中華人民共和国 China	35	3,134	0	58	55	6,311	44	4,174	3	336
5	パキスタン Pakistán	0	57	0	63	1	106	1	113	1	82
6	その他 Otros	7	377	8	477	1	103	1	89	1	105

Mil toneladas, millón de yenes - 千トン、百万円

Estadísticas de comercio / Ministerio de Finanzas - 財務省 貿易統計 [Link](#)

Importación de Arroz 2017 (Mil toneladas)



(2) Maíz - トウモロコシ

a) Producción - 生産量

2013	2014	2015	2016	2017
0	0	0	0	0

Toneladas - トン

Oferta y demanda / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 食料需給表 [Link](#)

b) Cantidad de importación - 輸入量

2013	2014	2015	2016	2017
14,400,901	15,034,840	14,708,190	15,341,755	15,305,664

Toneladas - トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

Maíz para alimento animal (HS1005.90-010, 1005.90-095) - うち飼料用

2013	2014	2015	2016	2017
10,096,005	10,414,065	10,051,428	10,519,972	10,365,304

Toneladas - トン

Estadísticas de comercio / Ministerio de Finanzas

財務省 貿易統計 [Link](#)

c) Precio - 価格

Valor CIF de importación - CIF 輸入価格

2013	2014	2015	2016	2017
32,196	27,170	26,628	21,716	22,593

Yenes/Toneladas - 円／トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

Maíz para alimento animal (HS1005.90-010, 1005.90-095) - うち飼料用

2013	2014	2015	2016	2017
31,038	26,482	26,002	21,202	22,208

Yenes/Toneladas - 円／トン

Estadísticas de comercio / Ministerio de Finanzas

財務省 貿易統計 [Link](#)

d) Oferta y demanda – 需給表

年度 Año Fiscal (Abr.-Mar.)	国内生産量 Producción nacional	輸入量 Importación	輸出量 Exportación	在庫増減量 Stock	国内消費仕向量 Consumo Interno
2013	0	14,637	0	168	14,469
2014	0	14,731	0	97	14,634
2015	0	15,096	0	339	14,757
2016	0	14,877	0	- 138	15,015
2017	0	15,655	0	407	15,248

Mil toneladas - 千トン

Oferta y demanda / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca
農林水産省 食料需給表 [Link](#)

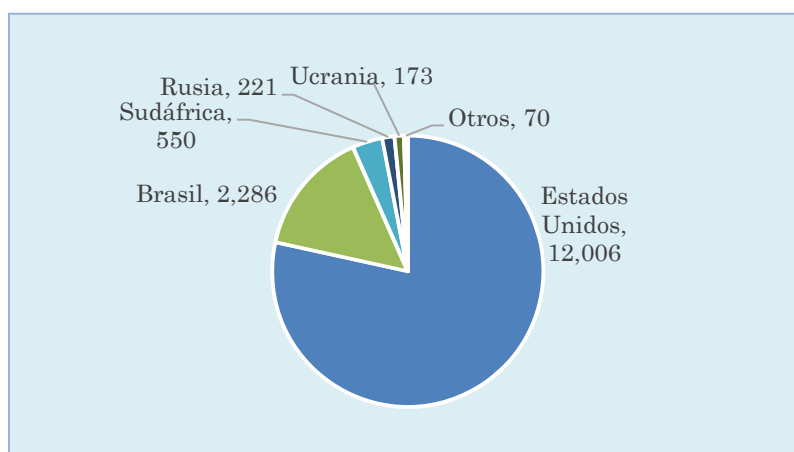
e) Importación por país – 国別輸入量

国 País	2013		2014		2015		2016		2017	
	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor
トウモロコシ合計 Maiz total	14,401	463,653	15,035	408,496	14,708	391,644	15,342	333,154	15,306	345,799
1 アメリカ合衆国 Estados Unidos	6,446	222,300	12,572	344,263	11,809	316,061	11,427	245,845	12,006	273,637
2 ブラジル Brasil	4,375	129,998	1,252	32,402	2,333	59,348	3,734	81,797	2,286	48,724
3 南アフリカ共和国 Sudáfrica	733	22,996	179	4,717	20	527	0	9	550	11,540
4 ロシア Rusia	—	—	50	1,253	—	—	102	2,174	221	4,955
5 ウクライナ Ucrania	670	18,150	901	21,979	395	9,886	42	895	173	3,880
6 その他 Otros	2,177	70,210	82	3,882	151	5,821	37	2,433	70	3,064

Mil toneladas, millones de yenes - 千トン、百万円

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca
農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

Importación de Maiz 2017 (Mil toneladas)



(3) Sorgo de Grano - グレインソルガム

a) Producción - 生産量

2013	2014	2015	2016	2017
0	0	0	0	0

Toneladas - トン

Oferta y demanda / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 食料需給表 [Link](#)

b) Cantidad de importación - 輸入量

2013	2014	2015	2016	2017
1,798,193	877,472	832,512	632,245	519,886

Toneladas - トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

(Para alimento animal HS1007.90-010) - うち飼料用

2013	2014	2015	2016	2017
1,583,704	680,774	691,194	488,930	369,780

Toneladas - トン

Estadísticas de comercio / Ministerio de Finanzas

財務省 貿易統計 [Link](#)

c) Precio - 価格

Valor CIF de importación - CIF 輸入価格

2013	2014	2015	2016	2017
28,818	26,839	25,828	21,301	22,294

Yenes/Toneladas - 円／トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

(Para alimento animal HS1007.90-010) - うち飼料用

2013	2014	2015	2016	2017
28,818	26,894	25,551	21,224	22,225

Yenes/Toneladas - 円／トン

Estadísticas de comercio / Ministerio de Finanzas

財務省 貿易統計 [Link](#)

d) Oferta y demanda - 需給表

年度 Año Fiscal (Abr.-Mar.)	国内生産量 Producción nacional	輸入量 Importación	輸出量 Exportación	在庫増減量 Stock	国内消費仕向量 Consumo Interno
2013	0	14,637	0	168	14,469
2014	0	922	0	- 6	928
2015	0	740	0	- 3	743
2016	0	561	0	- 18	579
2017	0	554	0	44	510

Mil toneladas - 千トン

Oferta y demanda / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 食料需給表 [Link](#)

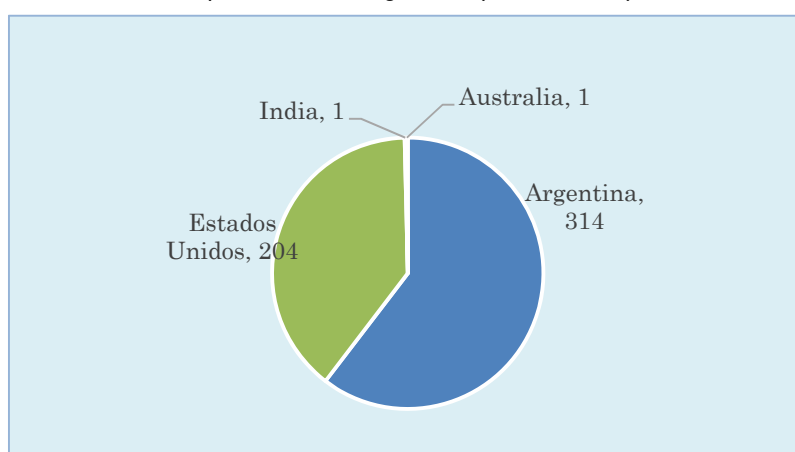
e) Importación por país - 国別輸入量

国 País	2013		2014		2015		2016		2017	
	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor
グレインソルガム合計 Sorgo de Grano total	1,798	51,821	877	23,551	833	21,502	632	13,467	520	11,591
1 アルゼンチン Argentina	1,152	31,524	592	15,114	737	18,255	535	11,156	314	6,760
2 アメリカ合衆国 Estados Unidos	214	6,619	283	8,326	83	2,855	89	2,091	204	4,754
3 インド India	1	34	1	40	1	52	1	30	1	30
4 オーストラリア Australia	431	13,624	0	31	1	45	7	172	1	29
5 ウクライナ Ucrania	-	-	-	-	0	9	0	9	0	6
6 その他 Otros	0	20	1	39	10	286	0	11	0	12

Mil toneladas, millón de yenes - 千トン、百万円

Estadísticas de comercio / Ministerio de Finanzas - 財務省 貿易統計 [Link](#)

Importación de Sorgo 2017 (Mil toneladas)



(4) Cebada - 大麦

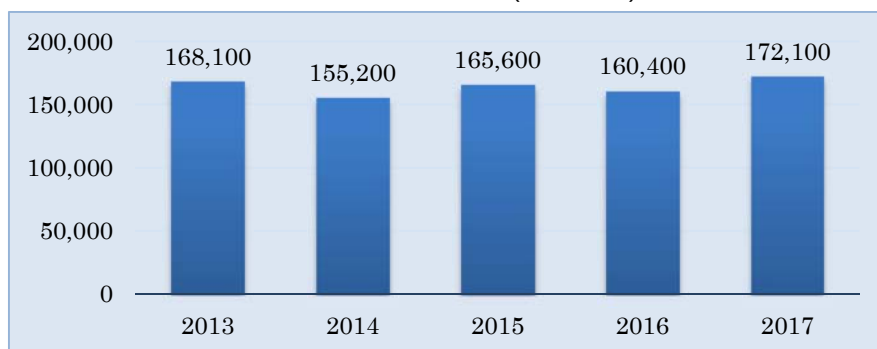
a) Producción - 生産量

	2013	2014	2015	2016	2017
二条大麦 Cebada de dos hileras	116,600	108,200	113,300	106,800	119,700
六条大麦 Cebada de seis hileras	51,500	47,000	52,300	53,600	52,400
合計 Total	168,100	155,200	165,600	160,400	172,100

Toneladas - トン

Estadísticas de cultivos / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca
農林水産省 作物統計 [Link](#)

Producción de Cebada (Toneladas)



b) Cantidad de importación - 輸入量

2013	2014	2015	2016	2017
1,323,964	1,241,258	1,110,937	1,161,547	1,205,249

Toneladas - トン

Importación y exportación (cebada desnuda incluida) / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca
農林水産省 農林水産物輸出入概況（裸麦含む） [Link](#)

(Para alimento animal HS1003.90-011, 1003.90-091) - うち飼料用

2013	2014	2015	2016	2017
1,077,538	1,022,864	878,821	917,822	959,770

Toneladas - トン

Estadísticas de comercio / Ministerio de Finanzas
財務省 貿易統計 [Link](#)

c) Precio - 価格

Precio nacional - 国内市場価格

	2013	2014	2015	2016	2017
二条大麦 Cebada de dos hileras	41,582	42,881	45,740	47,827	50,442
六条大麦 Cebada de seis hileras	46,453	46,290	47,595	47,565	46,880

Yenes/Toneladas - 円/トン

Precio de oferta (cebada nacional) / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca
農林水産省 国内産食糧用麦の落札価格 [Link](#)

Valor CIF de importación - CIF 輸入価格

2013	2014	2015	2016	2017
32,412	30,783	31,883	24,424	25,205

Yenes/Toneladas - 円/トン

Importación y exportación (cebada desnuda incluida) / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca
農林水産省 農林水産物輸出入概況（裸麦を含む） [Link](#)

(Para alimento animal HS1003.90-011, 1003.90-091) - うち飼料用

2013	2014	2015	2016	2017
30,949	28,993	28,941	21,539	22,576

Yenes/Toneladas - 円/トン

Estadísticas de comercio / Ministerio de Finanzas
財務省 貿易統計 [Link](#)

d) Oferta y demanda - 需給表

年度 Año Fiscal (Abr.-Mar.)	国内生産量 Producción nacional	輸入量 Importación	輸出量 Exportación	在庫増減量 Stock	国内消費仕向量 Consumo Interno
2013	168	1,880	0	- 15	2,063
2014	155	1,812	0	32	1,935
2015	166	1,743	0	- 16	1,925
2016	160	1,812	0	10	1,962
2017	172	1,777	0	- 3	1,952

Mil toneladas - 千トン

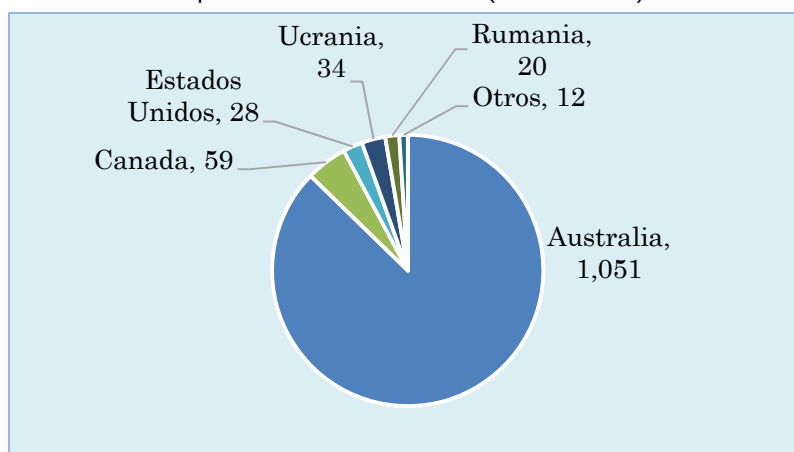
Oferta y demanda / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca
農林水産省 食料需給表 [Link](#)

e) Importación por país - 国別輸入量

国 País	2013		2014		2015		2016		2017	
	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor
大麦・裸麦合計 Cebada y cebada desnuda total	1,324	42,912	1,241	38,209	1,111	35,420	1,162	28,370	1,205	30,378
1 オーストラリア Australia	884	29,095	647	20,112	215	8,658	942	22,223	1,051	25,054
2 カナダ Canada	337	10,718	325	10,183	152	5,382	75	2,498	59	2,048
3 アメリカ合衆国 Estados Unidos	52	1,611	168	4,870	61	2,045	8	478	28	1,554
4 ウクライナ Ucrania	49	1,462	-	-	187	4,926	42	975	34	870
5 ルーマニア Rumania	-	-	51	1,560	79	2,070	6	127	20	492
6 その他 Otros	0	26	49	1,484	417	12,339	87	2,069	12	361

Mil toneladas, millón de yenes - 千トン、百万円
 Estadísticas de comercio (Cebada y cebada desnuda) / Ministerio de Finanzas
 財務省 貿易統計（大麦・裸麦） [Link](#)

Importación de Cebada 2017 (Mil toneladas)



(5) Soja - 大豆

a) Producción - 生産量

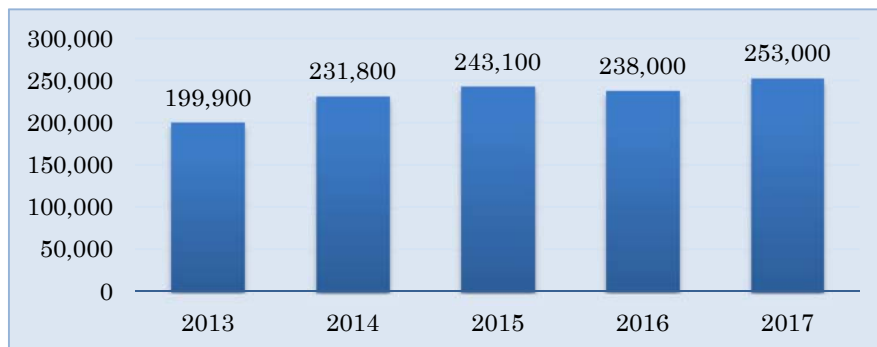
2013	2014	2015	2016	2017
199,900	231,800	243,100	238,000	253,000

Toneladas - トン

Estadísticas de cultivos / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 作物統計 [Link](#)

Producción de Soja (toneladas)



b) Cantidad de importación - 輸入量

2013	2014	2015	2016	2017
2,761,813	2,827,681	3,242,619	3,131,329	3,218,427

Toneladas - トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

c) Precio - 価格

Precio nacional - 国内市場価格

2013	2014	2015	2016	2017
14,168	13,380	10,155	9,364	8,202

Yenes/Toneladas - 円/60kg

Precio de oferta / JSAPA (Japan Speciality Agriculture Products Association)

日本特産農産物協会 大豆入札取引結果 [Link](#)

Valor CIF de importación - CIF 輸入価格

2013	2014	2015	2016	2017
66,537	68,560	63,597	53,026	53,917

Yenes/Toneladas - 円/トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

d) Oferta y demanda – 需給表

年 Año	国内生産量 Producción nacional	輸入量 Importación	輸出量 Exportación	在庫増減量 Stock	国内消費仕向量 Consumo Interno
2013	200	2,762	0	- 50	3,012
2014	232	2,828	0	- 35	3,095
2015	243	3,243	0	106	3,380
2016	238	3,131	0	- 54	3,423
2017	253	3,218	0	- 130	3,601

Mil toneladas - 千トン

Oferta y demanda / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 食料需給表 [Link](#)

e) Importación por país – 国別輸入量

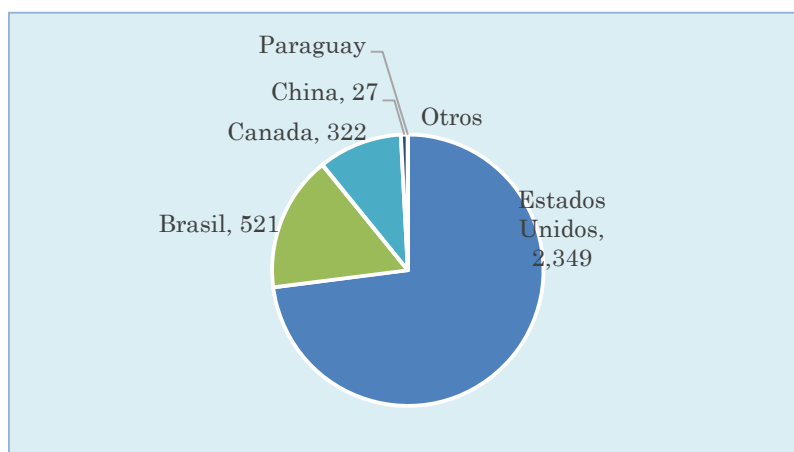
国 País	2013		2014		2015		2016		2017	
	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor
大豆合計 Soja total	2,762	183,763	2,828	193,865	3,243	206,221	3,131	166,042	3,218	173,527
1 アメリカ合衆国 Estados Unidos	1,660	106,731	1,849	121,978	2,332	142,126	2,238	114,407	2,349	124,165
2 ブラジル Brasil	649	39,446	591	37,098	507	26,759	524	24,079	521	24,001
3 カナダ Canada	378	31,015	346	30,193	368	32,898	340	24,392	322	22,473
4 中華人民共和国 China	41	4,509	36	4,126	33	4,261	29	3,144	27	2,870
5 パラグアイ Paraguay	29	1,796	0	13	0	12	0	17	0	11
6 その他 Otros	4	267	7	457	2	166	0	3	0	8

Mil toneladas, millones de yenes - 千トン、百万円

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

Importación de Soja 2017 (Mil toneladas)



(6) Trigo - 小麦

a) Producción - 生産量

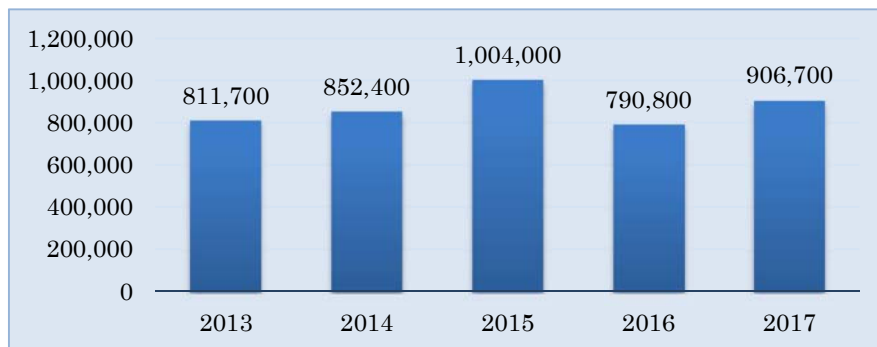
2013	2014	2015	2016	2017
811,700	852,400	1,004,000	790,800	906,700

Toneladas - トン

Estadísticas de cultivos / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 作物統計 [Link](#)

Producción de Trigo (toneladas)



b) Cantidad de importación - 輸入量

2013	2014	2015	2016	2017
6,199,479	5,759,445	5,530,613	5,446,632	5,705,950

Toneladas - トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

(Para alimento animal HS1001.99-016, 1001.99-096) - うち飼料用

2013	2014	2015	2016	2017
913,756	382,791	312,124	379,146	370,707

Toneladas - トン

Estadísticas de comercio / Ministerio de Finanzas

財務省 貿易統計 [Link](#)

c) Precio - 価格

Precio nacional - 国内市場価格

2013	2014	2015	2016	2017
57,260	58,330	56,640	48,470	52,510

Toneladas - トン

Precio de venta del gobierno (trigo importado, semestre: octubre)

/ Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省政府売渡価格（輸入小麦 10 月期） [Link](#)

Valor CIF de importación – CIF 輸入価格

2013	2014	2015	2016	2017
35,840	36,200	36,156	27,174	30,051

Yenes/Toneladas - 円／トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

(Para alimento animal HS1001.99-016, 1001.99-096) - うち飼料用

2013	2014	2015	2016	2017
31,207	31,734	28,183	22,351	23,903

Yenes/Toneladas - 円／トン

Estadísticas de comercio / Ministerio de Finanzas

財務省 貿易統計 [Link](#)

d) Oferta y demanda – 需給表

年度 Año Fiscal (Abr.-Mar.)	国内生産量 Producción nacional	輸入量 Importación	輸出量 Exportación	在庫増減量 Stock	国内消費仕向量 Consumo Interno
2013	812	5,737	0	- 443	6,992
2014	852	6,016	0	289	6,579
2015	1,004	5,660	0	81	6,583
2016	791	5,624	0	- 206	6,621
2017	907	5,939	0	269	6,577

Mil toneladas - 千トン

Oferta y demanda / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

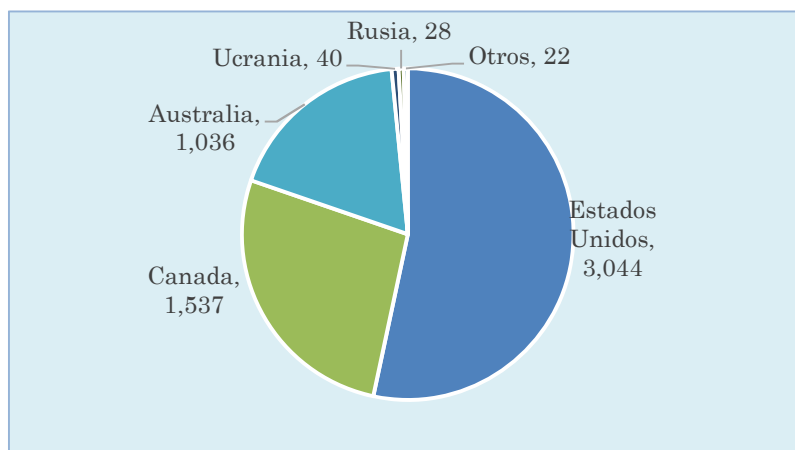
農林水産省 食料需給表 [Link](#)

e) Importación por país – 国別輸入量

国 País	2013		2014		2015		2016		2017	
	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor
小麦合計 Trigo total	6,199	222,191	5,759	208,494	5,531	199,965	5,447	148,009	5,706	171,467
1 アメリカ合衆国 Estados Unidos	3,229	114,470	2,986	106,056	2,791	101,642	2,521	67,290	3,044	86,347
2 カナダ Canada	1,679	60,873	1,799	67,345	1,617	59,784	1,799	49,831	1,537	52,722
3 オーストラリア Australia	959	37,259	929	33,443	902	32,127	844	24,424	1,036	29,987
4 ウクライナ Ucrania	268	7,428	—	—	114	3,022	89	2,024	40	939
5 ロシア Rusia	1	25	3	98	7	202	38	797	28	641
6 その他 Otros	64	2,136	43	1,552	99	3,188	156	3,644	22	830

Mil toneladas, millones de yenes - 千トン、百万円
 Importación y exportación /Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca
 農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

Importación de Trigo 2017 (Mil toneladas)



Carnes - 肉類

(1) Bovino - 牛肉

a) Producción - 生産量

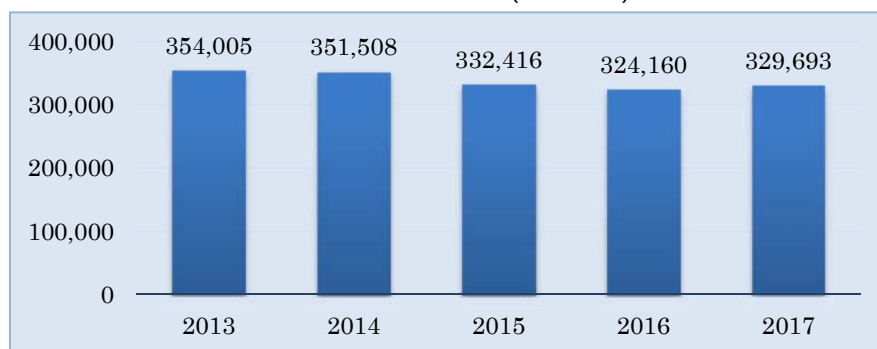
2013	2014	2015	2016	2017
354,005	351,508	332,416	324,160	329,693

Toneladas - トン

Bovino / ALIC (Agriculture & Livestock Industries Corporation)

農畜産業振興機構 牛肉需給表 [Link](#)

Producción de Bovino (toneladas)



b) Cantidad de importación - 輸入量

2013	2014	2015	2016	2017
535,496	519,778	495,420	504,384	573,978

Toneladas - トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

c) Precio - 価格

Precio nacional - 国内市場価格

2013	2014	2015	2016	2017
1,185	1,299	1,644	1,605	1,382

Yenes/kg - 円/kg

Precio de bovino (promedio de Tokio y Osaka) / ALIC (Agriculture & Livestock Industries Corporation)

農畜産業振興機構 牛肉の価格動向 (東京・大阪加重平均) [Link](#)

Valor CIF de importación - CIF 輸入価格

2013	2014	2015	2016	2017
498,314	589,698	681,973	572,508	610,609

Yenes/Toneladas - 円/トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

d) Oferta y demanda – 需給表

年度 Año Fiscal (Abr.-Mar.)	国内生産量 Producción nacional	輸入量 Importación	輸出量 Exportación	在庫増減量 Stock	国内消費仕向量 Consumo Interno
2013	506	765	1	31	1,239
2014	502	738	2	29	1,209
2015	475	696	2	- 16	1,185
2016	463	752	3	- 19	1,231
2017	471	817	4	- 7	1,291

Mil toneladas - 千トン

Oferta y demanda / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca
農林水産省 食料需給表 [Link](#)

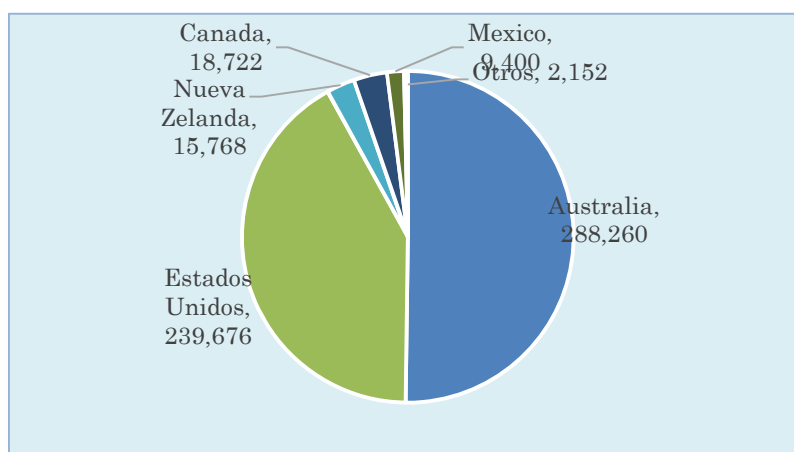
e) Importación por país – 国別輸入量

国 País	2013		2014		2015		2016		2017	
	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor
牛肉合計 Bovino total	535,496	266,845	519,778	306,512	495,420	337,863	504,384	288,764	573,978	350,476
1 オーストラリア Australia	286,947	135,712	281,706	156,463	289,632	192,083	273,675	157,208	288,260	174,485
2 アメリカ合衆国 Estados Unidos	186,164	102,251	188,733	121,944	165,502	118,098	192,128	109,730	239,676	150,661
3 ニュージーランド Nueva Zelanda	29,459	15,254	24,164	14,494	16,722	13,084	16,408	11,303	15,768	11,223
4 カナダ Canada	12,691	5,087	14,104	6,639	9,941	5,540	13,458	5,566	18,722	8,018
5 メキシコ Mexico	19,586	8,111	10,381	6,459	11,853	8,018	7,355	3,947	9,400	4,839
6 その他 Otros	648	430	690	514	1,769	1,040	1,360	1,010	2,152	1,250

Toneladas, millones de yenes - トン、百万円

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca
農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

Importación de Bovino 2017 (Mil toneladas)



(2) Porcino - 豚肉

a) Producción - 生産量

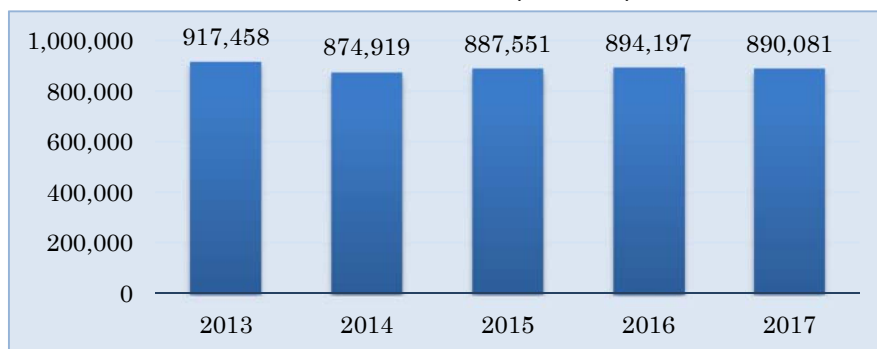
2013	2014	2015	2016	2017
917,458	874,919	887,551	894,197	890,081

Toneladas - トン

Porcino / ALIC (Agriculture & Livestock Industries Corporation)

農畜産業振興機構 豚肉需給表 [Link](#)

Producción de Porcino (toneladas)



b) Cantidad de importación - 輸入量

2013	2014	2015	2016	2017
738,455	829,375	790,660	861,186	932,069

Toneladas - トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

c) Precio - 価格

Precio nacional - 国内市場価格

2013	2014	2015	2016	2017
499	593	540	528	564

Yenes/kg - 円/kg

Precio de porcino (promedio de Tokio y Osaka) / ALIC (Agriculture & Livestock Industries Corporation)

農畜産業振興機構 豚肉の価格動向（東京・大阪加重平均） [Link](#)

Valor CIF de importación - CIF 輸入価格

2013	2014	2015	2016	2017
527,772	550,253	537,665	525,824	526,835

Yenes/Toneladas - 円/トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

d) Oferta y demanda – 需給表

年度 Año Fiscal (Abr.-Mar.)	国内生産量 Producción nacional	輸入量 Importación	輸出量 Exportación	在庫増減量 Stock	国内消費仕向量 Consumo Interno
2013	1,311	1,113	2	- 18	2,440
2014	1,250	1,216	2	23	2,441
2015	1,268	1,223	2	- 13	2,502
2016	1,277	1,290	3	12	2,552
2017	1,272	1,357	3	5	2,621

Mil toneladas - 千トン

Oferta y demanda / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca
農林水産省 食料需給表 [Link](#)

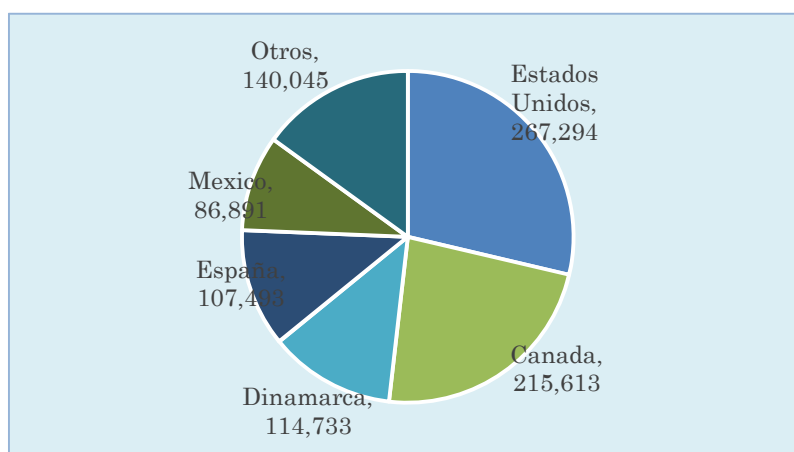
e) Importación por país – 国別輸入量

国 País	2013		2014		2015		2016		2017	
	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor
豚肉合計 Porcino total	738,455	389,736	829,375	456,366	790,660	425,110	861,182	452,830	932,069	491,047
1 アメリカ合衆国 Estados Unidos	281,139	148,031	276,032	155,674	259,471	141,047	264,074	138,713	267,294	140,661
2 カナダ Canada	142,212	74,750	147,993	82,043	165,823	89,738	178,610	93,998	215,613	113,863
3 デンマーク Dinamarca	113,951	59,731	135,346	71,405	110,055	57,806	118,339	61,993	114,733	60,212
4 スペイン España	34,005	18,654	65,531	35,902	73,942	39,477	88,673	46,740	107,493	56,753
5 メキシコ Mexico	59,379	31,740	63,042	35,964	69,643	37,934	75,146	39,634	86,891	45,873
6 その他 Otros	107,768	56,829	141,431	75,377	111,726	59,107	136,339	71,751	140,045	73,684

Toneladas, millones de yenes - トン、百万円

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca
農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

Importación de Porcino 2017 (Mil toneladas)



(3) Pollo - 鶏肉

a) Producción - 生産量

* Año Fiscal (Abr.-Mar.)

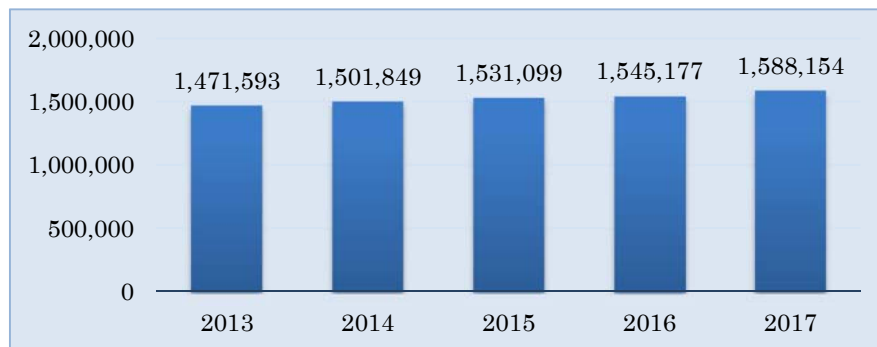
2013 *年度	2014 *年度	2015 *年度	2016 *年度	2017 *年度
1,471,593	1,501,849	1,531,099	1,545,177	1,588,154

Toneladas - トン

Pollo / ALIC (Agriculture & Livestock Industries Corporation)

農畜産業振興機構 鶏肉需給表 [Link](#)

Producción de Pollo (toneladas)



b) Cantidad de importación - 輸入量

2013	2014	2015	2016	2017
414,243	475,225	529,458	551,181	569,466

Toneladas - トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

c) Precio - 価格

Precio nacional - 国内市場価格

* Año Fiscal (Abr.-Mar.)

	2013 *年度	2014 *年度	2015 *年度	2016 *年度	2017 *年度
Muslo もも肉	612	626	649	649	635
Pechuga むね肉	265	311	327	269	327

Yenes/kg - 円/kg

Precio de pollo (Precio mayorista de Tokio) / ALIC (Agriculture & Livestock Industries Corporation)

農畜産業振興機構 鶏肉の価格動向（東京卸売） [Link](#)

Valor CIF de importación - CIF 輸入価格

2013	2014	2015	2016	2017
264,401	297,255	299,136	220,080	265,004

Yenes/Toneladas - 円/トン

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

d) Oferta y demanda – 需給表

年 Año	国内生産量 Producción nacional	輸入量 Importación	輸出量 Exportación	在庫増減量 Stock	国内消費仕向量 Consumo Interno
2013	1,459	717	9	- 28	2,195
2014	1,494	759	11	16	2,226
2015	1,517	809	9	19	2,298
2016	1,545	842	9	9	2,369
2017	1,575	905	10	22	2,448

Mil toneladas - 千トン

Oferta y demanda / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 食料需給表 [Link](#)

e) Importación por país – 国別輸入量

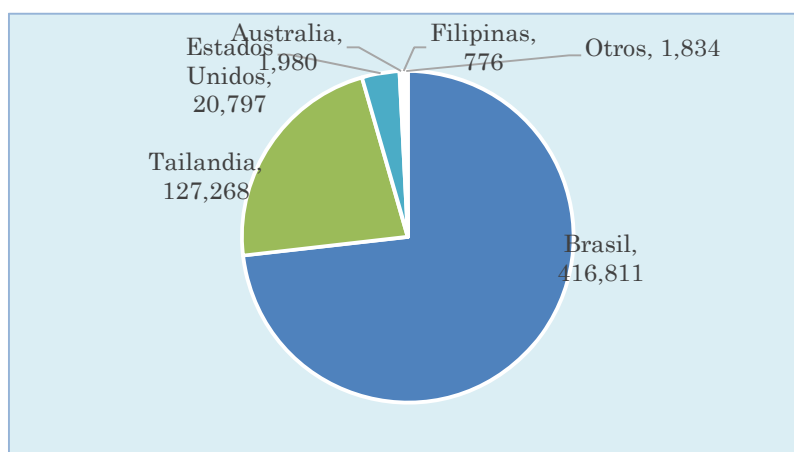
国 País	2013		2014		2015		2016		2017	
	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor
鶏肉合計 Pollo total	414,243	109,526	475,225	141,263	529,458	158,380	551,181	121,304	569,466	150,911
1 ブラジル Brasil	387,202	102,742	399,294	117,221	408,923	118,830	415,827	84,330	416,811	102,295
2 タイ Tailandia	—	—	44,617	15,792	92,347	32,193	109,906	31,614	127,268	42,628
3 アメリカ合衆国 Estados Unidos	22,460	4,850	25,874	6,101	22,702	5,364	20,953	4,026	20,797	4,665
4 オーストラリア Australia	—	—	—	—	1,774	508	2,019	508	1,980	513
5 フィリピン Filipinas	3,618	1,611	4,599	1,842	2,353	1,070	1,295	529	776	375
6 その他 Otros	963	323	842	306	1,359	415	1,181	297	1,834	435

Toneladas, millones de yenes - トン、百万円

Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca

農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

Importación de Pollo 2017 (Mil toneladas)



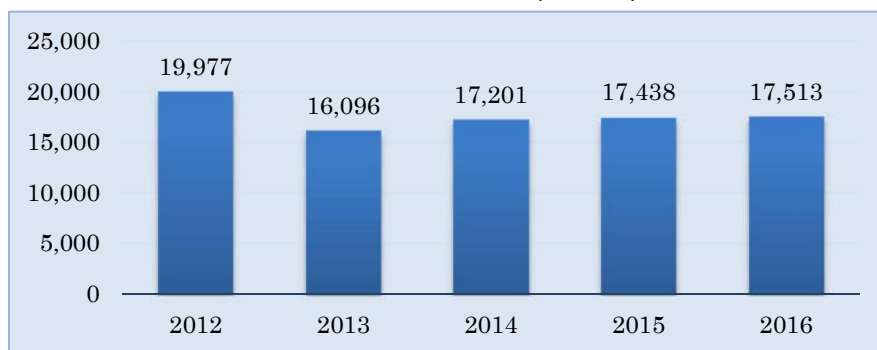
(4) Ovino - 羊肉

a) Número de cría de ovino – めん羊飼養頭数

	2012	2013	2014	2015	2016
戸数 Hogares	909	873	882	924	965
頭数 Cabezas	19,977	16,096	17,201	17,438	17,513

Estadísticas de ovinos / JLTA (Japan Livestock Technology Association)
畜産技術協会 めん羊統計 [Link](#)

Número de cría de Ovino (cabezas)



b) Cantidad de importación – 輸入量

2013	2014	2015	2016	2017
18,449	20,732	18,505	20,047	22,193

Toneladas - トン
Estadísticas de comercio / Ministerio de Finanzas - 財務省 貿易統計 [Link](#)

c) Precio – 価格

Precio nacional – 国内市場価格

2006	2007	2008	2009	2010
74,209	63,163	55,460	48,344	45,650

Yenes/Cabeza 円／頭
Estadísticas de ovinos(Mercado de Fukushima, el mercado está cerrado después de 2011)
/ JLTA (Japan Livestock Technology Association)
畜産技術協会 めん羊統計 (福島県市場セリ成績、2011 年以降は市場が閉場) [Link](#)

Valor CIF de importación – CIF 輸入価格

2013	2014	2015	2016	2017
660,566	825,490	889,984	729,612	853,819

Yenes/Toneladas - 円／トン
Importación y exportación / Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca
農林水産省 農林水産物輸出入概況 [Link](#)

e) Importación por país – 国別輸入量

国 País	2013		2014		2015		2016		2017	
	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor	数量 Cantidad	金額 Valor
羊・やぎ肉 Ovino total	18,449	12,140	20,732	17,032	18,505	16,375	20,047	14,582	22,193	18,919
1 オーストラリア Australia	11,578	8,053	14,508	12,063	12,869	11,254	13,692	9,908	13,412	11,629
2 ニュージーランド Nueva Zelanda	6,731	3,967	6,133	4,884	5,505	4,995	6,241	4,566	8,399	6,875
3 フランス Francia	-	-	-	-	0	0	-	-	105	218
4 アイスランド Islandia	136	110	87	71	126	112	110	97	275	190
5 ハンガリー Hungria	4	11	4	13	5	14	4	11	2	6

Toneladas, millón de yenes - トン、百万円

Estadísticas de comercio / Ministerio de Finanzas - 財務省 貿易統計 [Link](#)

Importación de Ovino 2017 (Mil toneladas)

